

Digest version

世界の山旅

2025.6～11



世界の山旅を手がけて56年
アルパインツアー



▲ドロミテを代表する絶景の岩峰ドライチンネン

もくじ

□まだ間に合う！7月のおすすめ2コース……………3	□コーカサス山脈・展望ハイキングと世界遺産スワネチ地方を訪ねる旅 12日間……………25
□【特別企画】4,000m峰ブライトホルン登頂とマッターホルン展望ハイキング 7日間……………4	□バリ島の秀峰バトゥール山登頂とペニダ島 6日間……………26
□【特別企画】カルガリー直行便（ウエストジェット航空利用）で行く黄葉のカナディアンロッキー厳選ハイキング 7日間……………5	□韓国的高峰2座登頂漢拏山と智異山 5日間/韓国の名峰・雪岳山登頂と北漢山ハイキング 5日間……………27
□【特別企画】大阪・名古屋発着 台湾最高峰 玉山登頂 5日間……………6	□アメリカ西部の大自然グランドサークル・ハイキング 9日間……………28
□2つの山小屋と迫力の2大氷河ハイキング 10日間……………7	□ノアの方舟伝説の国・アルメニアハイキング 10日間……………29
□憧れのヘルンリ小屋に泊まるスイス山小屋スペシャル 8日間……………8	□ウズベキスタンの4つの世界遺産とタジキスタンの大自然周遊スペシャル 12日間……………30
□頂へ！カナディアンロッキーの名峰3座登頂 8日間……………9	□錦秋の桃源郷フンザとカラコルム展望ハイキング 10日間……………31
□ナミブ砂漠と花の楽園ナマクワランド、世界三大瀑布ビクトリア・フォールズ 13日間……………10	□全日空で行く！ハワイ島マウナケア登頂&カウアイ島ハイキングとホノルル 8日間……………32
□悠久なる大地へ極北ユーコン縦断ハイキング 9日間……………11	□ヨルダン・トレイルと最高峰ウム・アッダーミ登頂 9日間……………33
□【花の観察会】西オーストラリア・ワイルドフラワーの楽園満喫 8日間……………12	□【発表】アンナプルナ山群トレッキングと8,000m峰展望 9日間……………34
□インド・ラダック・ヒマラヤ探訪と天空の湖、タージマハル 10日間……………13	□【発表】エベレスト展望トレッキングとシェルパの里 9日間……………35
□インドの世界遺産・西ガーツ山脈フラワーハイキングとエローラとアジャンター2つの石窟群 9日間……………13	□ニュージーランドロッジ泊まりのご案内 / ニュージーランド・スーパー・トレッキング 14日間……………36
□ツール・ド・モンブラン トレッキング 10日間……………14	□ミルフォード・トラックとマウントクック展望ハイキング 11日間……………37
□絶景のセニヤ島ハイキングとロフォーテン諸島 10日間……………15	□ルートバーン・トラックとマウントクック展望ハイキング 10日間……………37
□素朴な山岳国スロバキア、ポーランド・ハイキングと絶景の山岳リゾートホテル滞在 10日間……………16	□花咲く初夏のニュージーランド南島フラワー・ハイキング 10日間……………38
□アシニポイン・ロッジ滞在秋のスペシャル・ハイキング 9日間……………17	□滞在型で楽しむニュージーランド南島ゆったりハイキング 9日間……………38
□秋のドロミテ山群 ベストハイキング 10日間……………18	□北島の名峰ルアペフ山登頂とトンガリロ・クロッシング 8日間……………39
□秋のカナディアンロッキー黄葉ベストハイキング 9日間……………19	□【日本のロングトレイルを往く】富士山ロングトレイル 4日間……………40
□魅力あふれる秋のエンガディンじっくり滞在 9日間……………20	□【日本のロングトレイルを往く】京丹後・伝説の「鬼トレイル」を往く 5日間……………41
□黄葉彩るアメリカン・ロッキー秋のコロラド満喫ハイキング 9日間……………21	□【日本のロングトレイルを往く】常陸国ロングトレイル 3日間……………42
□ヨーロッパ・アルプス秋の4カ国周遊ハイキング 9日間……………22	□お申し込みからご出発まで / 旅行条件……………43
□四輪駆動車で行く憧れの王都ローマンタン探訪 10日間……………23	
□ガラパゴス諸島と謎のイースター島探訪 13日間……………24	

このカタログに掲載の同行予定ツアーリーダーは、健康上の理由その他により変更となる場合があります。

まだ間に合う! 7月出発おすすめコース 世界中のロッキーファンが一生に一度は訪れてみたいと願う宿

憧れのアシニボイン・ロッジ滞在 絶景ハイキング 9日間

お申込みは
こちら

ロッキーの人気ロッジとして知られ、秀峰Mt.アシニボイン(3,618m)を目の前に望む絶景のロケーションに建つアシニボイン・ロッジに3連泊。入山人数が少なく静寂に包まれた山域でロッジ起点の変化に富んだ充実のハイキング、美味しいお食事、温かいホスピタリティに溢れたロッジライフをお楽しみください。40年のロッジとのお付き合いを積み重ねてきたアルパインツアーだけがご案内できる特別企画です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
満席 7/10(木)～7/18(金)	¥928,000	残2 7/24(木)～8/1(金)	¥948,000

- 燃料サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約66,000円)が別途必要です。今後変更になる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- カナダETA(=電子渡航認証システム、実費7CADドル+申請料金4,400円、2025年6月1日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員):カルガリーからカルガリーまで同行します。
- 最少催行人数:10人 ●食事:朝7回、昼6回、夕5回
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。キャンモア/シャトー・キャンモア バンフ/プリユスター・マウンテン・ロッジ
- 一人部屋利用追加料金:¥104,000(ロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社:エア・カナダ、ウエストジェット航空



絶大な人気を誇るアシニボイン・ロッジへ

アシニボイン・ロッジは世界中のハイカーにとって憧れの山小屋であり、ロッキーでは最も予約が困難な場所の一つ。一步外に出れば秀峰Mt.アシニボインの素晴らしい景色が広がります。朝焼けに染まる山々と静寂の湖。幻想的な色彩に染まるトワイライトの景色を独占できるのは、滞在者だけの特権です。また、ロッジを起点とした日帰りハイキングコースも充実しており、雄大な山々の大パノラマを望む人気のナブレットや高山植物の群生地、青く澄みきった湖を巡るコースなど、1週間いても飽きることはありません。何度訪れても新たな発見や感動を与えてくれる場所で、リピーター率が高いのも納得です。



▲絶好のロケーションに建つロッジに3連泊

【日程】①午後、東京発→バンクーバーで乗り継ぎまたは直行便でカルガリー→キャンモア着/泊 ②カナナスキス→ヤマナスカ・ショルダーハイキング→キャンモア泊 ③モレーンレイク→ラチバレーハイキング→バンフ着/泊 ④ヘリポート→アシニボイン・ロッジ着/泊 ⑤⑥アシニボイン・ロッジ滞在ハイキング ⑦ヘリポート→バンフ着/泊 ⑧カルガリー→東京へ ⑨午後、東京着

まだ間に合う! 7月出発おすすめコース モンブラン山麓からマッターホルン山麓へ、“オートルート”を歩く



オートルート・トレッキング シャモニからツェルマットへ 12日間

お申込みは
こちら

アルプス最高峰モンブランの山麓シャモニから名峰マッターホルンの山麓ツェルマットへと歩く“オートルート(高い道)”のハイライト部分を5泊6日でトレッキングするコースです。観光客の少ない静かなアルプスの谷と峠越え、氷雪を抱く高峰を目前に、可憐な花を咲かせる高山植物、緑のアルム、素朴な山村風景など変化に富んだトレッキングです。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
残2 7/23(水)～8/3(日)	¥936,000

- 燃料サーチャージ(2025年6月1日現在約75,000円)が別途必要です。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはジュネーブからジュネーブまで同行します。
- 最少催行人数:10人 ●食事:朝9回、昼6回、夕7回
- 一人部屋利用追加料金:¥66,000(山小屋とロッジ泊を除く)
- 利用予定ホテル:Bクラス以上。シャモニ/ヘリオピック、ル・プリウレ アローラ/グランド・クアハウス、グレーシャーホテル ツィナール/ホテル・ヨーロップ ツェルマット/サラゼナ他同等クラス
- 利用予定航空会社:エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空



▲シャモニ針峰群の中腹を歩きモンタンバールへ

【日程】①夜、東京発→中東経由都市 ②ジュネーブ→シャモニ ③エギーユ・デュ・ミディ展望台、シャモニ針峰群展望ハイキング/シャモニ泊 ④トレッキング1日目、ディス小屋着/泊 ⑤トレッキング2日目、アローラ着/泊 ⑥トレッキング3日目、モアリー小屋着/泊 ⑦トレッキング4日目、ツィナール着/泊 ⑧トレッキング5日目、グラン・ムンテ小屋着/泊 ⑨トレッキング6日目、ツィナールツェルマット着/泊 ⑩ツェルマット滞在 ⑪ジュネーブ→中東経由都市→東京へ ⑫夕刻、東京着

※このコースは日本での山小屋縦走(夏山)程度の体力が必要です。

日本から往復7日間。コンパクトな日程で4,000mの山頂へ

お申込みは
こちら特別
企画4,000m峰ブライトホルン登頂と
マッターホルン展望ハイキング 7日間

アルプスの名峰に囲まれたツェルマットに4連泊して4,164mのブライトホルンの登頂を目指します。ブライトホルン登頂に備えて3,000m峰のオーバーロートホルンにも登ります。お仕事をお持ちの方や長期間の海外旅行に出かけるのが難しい方向けの特別企画です。是非この機会にアルプス4,000m峰にチャレンジを!

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホリ宿)

出発日～帰国日	旅行代金
8/23(土)～8/29(金)	¥668,000

私がご案内します

松本 伸夫
(まつもと のぶお)

●燃油サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約77,500円)が別途必要です。今後変更になる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

●ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはチューリッヒからチューリッヒまで同行します。

●最少催行人数:10人 ●食事:朝4回、夕1回

●一人部屋利用追加料金:¥138,000

●利用予定ホテル:Cクラス以上。ツェルマット/エミゼウス、ダービー、アルペンブリック、イエガーホフ

●利用航空会社:エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、ターキッシュエアラインズ

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

※積雪・残雪等の状況によっては、日程表内に記載しているハイキングができない場合があります。ツアーリーダーが別のハイキングへご案内いたします。

※天候状況により展望台観光の日程を前後される場合があります。

※予定のハイキングコースは天候との条件により変更される場合があります。従ってスケジュール表の【 】内に記載された行動の際の登山電車代、ロープウェイ代などは旅行代金に含まれておりません。(総額の目安は約16,000円です。)

通常よりもコンパクトな日程で
4,000m峰を目指す!

ブライトホルン(4,164m)は、4,000m峰の入門編として多くの人に親しまれている非常に人気の高い山です。スタート地点はゴンドラで上がった3,883mのマッターホルン・グレーシャーパラダイス。アイゼンとハーネスを装着し現地山岳ガイドとロープで繋ぎ合い、広大な雪原と雪の斜面をゆっくりと約300m登ります。広い頂上からは形の違うマッターホルンを始め4,000m級の山々、イタリアの山々やヨーロッパアルプス最高峰モンブラン(4,810m)も遠くに望む大パノラマが広がります!登山後には、憧れのマッターホルンに近づくヘルンリ小屋へのハイキングも楽しめます。

ブライトホルン登頂

スイス側からは断崖絶壁に見えるブライトホルンは、登山口とマッターホルン・グレイシャーパラダイスからはなだらかな山容となり、雪山やアイゼン歩行になれた人なら、特別な技術は不要です。山頂からは見慣れた姿とは形を変えたマッターホルンやヨーロッパアルプスの高峰群が一望でき、4,000峰登頂の充実感を味わうことができます。



▲4,164mの山頂を目指し一歩ずつ進む



▲ブライトホルン山頂から望むマッターホルン

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東経由都市 着	夜、東京発→中東経由都市へ。 ☐☐☐【機中泊】
2	中東経由都市 発 チューリッヒ 着/発 ツェルマット 着	未明、中東経由都市→飛行機を乗り継ぎ、チューリッヒへ。列車を乗り継ぎツェルマットへ(約3時間)。 ☐☐☐【ツェルマット泊】
3	ツェルマット 滞在	【オーバーロートホルン(3,103m)へ。岩と砂地の荒涼とした稜線を登り、オーバーロートホルン(3,414m)へ(徒歩約2.5時間)。山頂からは360度の大展望が広がり、ミシャベル山群は手が届きそうなるほど近くに見えます。ブラウヘルトまで下り(徒歩約2時間)。ツェルマットへ。 ☐☐☐【ツェルマット泊】
4	ツェルマット 滞在	ブライトホルン登山。ロープウェイでマッターホルン・グレーシャーパラダイス(3,883m)へ。現地山岳ガイドとザイルを結び登山開始。広大な雪原を経て雪の急斜面を登り、ブライトホルン山頂(4,164m)へ。ヴァリス山塊の360度の大パノラマを楽しんだ後、往路を下ります(徒歩約4時間)。 ☐☐☐【ツェルマット泊】
5	ツェルマット 滞在	【ゴンドラで、シュワルツゼー(2,583m)へ。岩がちな尾根道を登り、マッターホルン(4,478m)の岩壁基部に建つヘルンリ小屋(3,260m)を往復(徒歩約5時間)。シュワルツゼーからゴンドラでツェルマットへ。 ※滞在中の天候等を考慮し、3・4・5日目の予定を入れ替えてご案内する場合があります。 ☐☐☐【ツェルマット泊】
6	ツェルマット 発 チューリッヒ 着/発 中東経由都市 着	列車を乗り継ぎチューリッヒへ(約3.5時間)。 チューリッヒ発→飛行機にて中東経由都市へ。 ☐☐☐【機中泊】
7	中東経由都市 発 東京 着	未明→中東経由都市で乗り継いで→東京へ。 夕刻、東京着。 ☐☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲ブライトホルン。右側の雪原を登る

オーバーロートホルン ヘルンリ小屋

ミシャベル山群を間近に望むオーバーロートホルンはマッターホルンのあるヴァリス山群をはじめ、360°の展望が楽しめる展望台として知られています。

マッターホルンの基部に建つヘルンリ小屋からは聳え立つマッターホルンを見上げることが出来、その迫力には圧倒させられることでしょう。日帰りハイキングで訪れます。



▲雄大な展望が楽しめるオーバーロートホルン



▲ヘルンリ小屋からの迫力のマッターホルン

【ウエストジェット航空直行便で行く】厳選の黄葉ハイキング

お申込みは
こちら特別
企画黄葉のカナディアンロッキー
厳選ハイキング 7日間

秋の黄葉シーズンになるとカナディアンロッキーは天候も比較的安定し、ポプラやアスペン、カラマツの黄金色に彩られます。どこまでも続く雄大な山々と青く輝く氷河湖、そして黄葉のコントラストは息を呑むほどの美しさです。全体の日程がコンパクトな7日間ですが連泊型のゆったり日程で秋のカナダを満喫するコースです。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全泊別)

出発日～帰国日	旅行代金
9/30(火)～10/6(月)	¥598,000

- 燃油サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約66,000円)が別途必要です。今後変更になる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- カナダETA(=電子渡航認証システム、実費7CADドル+申請料4,400円)が別途必要です。2025年6月1日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはカルガリーからカルガリーまで同行します。
- 最少催行人数:10人 ●食事:朝5回、夕5回
- 利用予定ホテル:Bクラス以上。キャンモア/キャンモア・イン・アンド・スイーツ シャトール・キャンモア バンフ/プリュースター・マウンテンロッジ
- 一人部屋追加料金:¥122,000
- 利用予定航空会社:ウエストジェット航空

黄葉のカナディアンロッキーを
コンパクトに巡る

黄葉の見頃を迎えるハイキングコースを厳選し、7日間のコンパクトな日程で、カナディアンロッキーの秋を楽しむ企画です。キャンモアに3連泊、バンフに2連泊とホテルに連泊しながら、日帰りハイキングに出かけます。ターミガンサークでは、森林限界を超えた登山口から歩き始め、迫力のある岩壁の景観と色づくカラマツの森のハイキング。ヤマナスカシヨルダールでは屏風岩のように聳えるMt.ヤマナスカの絶景の展望地、ヤマナスカシヨルダールまで登り黄葉のポプラの森を楽しみます。人気のリゾート地バンフにも2連泊。町中やボウ川沿いの散策もお勧めです。バンフからはレイクルイーズのハイキングや神秘的な湖モレーンレイク観光も楽しめます。アサバスカ氷河の雪上車体験も楽しみです。

ターミガンサーク ヤムナスカシヨルダール

カナナスクス・カントリーと呼ばれる地域で、森林帯を抜けると黄金色に色づくカラマツと石灰岩のコントラストが美しいところ。サークとはカールとも言われ、氷河が削ったお椀上の地形を言います。

ポプラやトウヒの森を登り、ヤマナスカ山の中腹にある展望台まで往復します。眼下には黄金色の黄葉、その向こうにロッキーの山々となだらかに続く丘陵地帯の絶景が広がる大パノラマが魅力のコースです。



▲ターミガンサーク



▲巨大な絶壁で聳えるMt.ヤマナスカ

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 カルガリー 着/発 キャンモア 着	東京(成田)発→ウエストジェット航空直行便で→カルガリーへ。到着後、ロッキーのゲートタウンであるキャンモアへ(専用車約1.5時間)。キャンモアの町にゆったり3連泊します。 【キャンモア泊 H】
2	キャンモア 滞在 ターミガンサーク・ハイキング	専用車で大陸横断道路を東へと走りカナナスクスへ。 森林限界近くの登山口より歩き始め、迫力のある岩壁の景観を眺めながらのハイキングをお楽しみください (徒歩約2.5時間)。キャンモアへ。 【キャンモア泊 H】
3	キャンモア 滞在 ヤマナスカシヨルダール・ハイキング	専用車でカナナスクスへ。 カナディアンロッキー東側の玄関口にある巨大な屏風岩、圧倒的な存在感のあるMt.ヤマナスカの中腹にある絶景の展望地を目指します (徒歩約3~4時間)。眼下には広大なポプラの森が広がり、黄葉の最盛期に当たれば、一面が黄金色に染まる世界を楽しむことができます。秋の行楽シーズンは地元のハイカーにも大変人気なスポットです。キャンモアへ。 【キャンモア泊 H】
4	キャンモア 発 アサバスカ氷河雪上車観光 バンフ 着	専用車でアイスフィールドパークウェイを北上し、コロンビア・アイスフィールドへ。カナディアンロッキーの心臓部を走るドライブでは雄大な山々、美しく輝く氷河と氷河湖、カナダならではの野生動物たちとの出会いなどを楽しめることでしょう。 コロンビア大氷原から流れる氷河の一つ、アサバスカ氷河の上を特殊な雪上車に乗って観光します (約1.5時間)。その後バンフへ。人気のリゾートタウンに2連泊します。 【バンフ泊 H】
5	バンフ 滞在 レイクルイーズハイキング モレーンレイク観光	バンフ国立公園のレイクルイーズへ。 カナディアンロッキーの宝石と称される美しい湖、レイクルイーズの観光を楽しんだ後、名峰Mt.ピクトリア(3,464m)を眺めながら歩く絶景ハイキングです (徒歩約4時間)。下山後、専用車でモレーンレイクへ。 神秘的な色合いを見せるモレーンレイクを観光 後、バンフの町へ。 【バンフ泊 H】
6	バンフ 発 バンクーバー 着/発	バンフ発カルガリー空港へ(専用車約2時間)。ウエストジェット航空直行便で→東京へ。 【機中泊】
7	東京 着	午後、東京(成田)着。

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

ロッキー観光

キャンモアからバンフへの移動で走る「アイスフィールドパークウェイ」は「ロッキーパノラマ街道」とも呼ばれています。日本では見ることも出来ない風光明媚な道を作り、ロッキーの観光名所を訪れます。



▲旅の最後はバンフの町に2連泊

レイクルイーズ

バンフ国立公園のレイクルイーズは神秘的な色合いを見せる氷河湖として知られています。ミルキーブルーの向こうに見える氷雪の山々とのコントラストは、まさにロッキーを代表するような景観です。



▲レイクルイーズから望むMt.ピクトリア

お申込みは
こちら

特別
企画

【大阪・名古屋発着】

台湾最高峰 玉山登頂 5日間

ぎょくさん (ユイシャン)

台湾のほぼ中心部に位置する台湾最高峰『玉山』に山小屋1泊でご来光目指して登頂します。登山には特別な技術は必要なく、宿泊する山小屋は快適で食事や寝具も提供されるため、軽い荷物で登ることができます。阿里山へは山岳鉄道でゆっくりとアプローチし、軽いハイキングで体調を整えます。初めての海外登山にもおすすめのコースです。

発着地 大阪・名古屋 福岡・東京発はお問い合わせください。

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	大阪発着	名古屋発着
10/27(月)～10/31(金)	¥298,000	¥302,000

- 燃油サーチャージ (2025年6月1日現在: 目安約17,800円) が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー (添乗員): 大阪または名古屋から大阪または名古屋まで、または台北から台北まで同行します。
- 最少催行人数: 8人
- 食事: 【大阪発着】朝4回、昼1回、夕4回 【名古屋発着】朝4回、昼2回、夕4回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。嘉義/兆品ホテル 阿里山/高山青ホテル 台中/富信ホテル
- 一人部屋利用追加料金: **¥42,000** (山小屋泊を除く)
- **※相部屋のご希望は承りますが、お一人様でお部屋を利用されることになった場合には、一人部屋利用追加料金をご請求させていただきます。**
- 利用予定航空会社: エバー航空、チャイナエアライン、キャセイパシフィック航空、日本航空

※本コースは排雲山荘の宿泊許可が取得できた場合のみ催行いたします。
 ※ 国家公園管理局の指示、現地事情により日程は、一部変更されることがあります。
 ※ 台湾では台風や発達した低気圧の接近に伴い、登山者の安全確保および登山道の安全点検のため、国家公園により登山道が一定期間閉鎖されることがあります。このため、ツアーの出発前に登山道が閉鎖されたり、高い確率で登山道が閉鎖されるおそれがある場合には、ツアーの催行を中止させていただく場合があります。

お申し込みはお早め! 玉山登頂ツアーでは排雲山荘の予約が必要です。排雲山荘の予約は宿泊の4ヶ月前に外国人枠の申込み受付が始まり、即日に予約がいっぱいになることが多いです。その後は1ヶ月前からの台湾人・外国人を含んだ抽選に当たらないと予約がとれません。4ヶ月前までの早目のお申し込みをお願いいたします。山小屋の予約には登頂時に有効のパスポートの画像(写真)がカラーで必要です。パスポートの有効期限が切れている方は4ヶ月前までに新しいパスポートを申請、受領する必要があります。

※登山中は現地登山ガイドが同行します。
 ※排雲山荘ではマットは不要で、寝袋は山荘でレンタルします。(料金は旅行代金に含まれます。)
 ※排雲山荘では登頂日は出発前に朝食をとり、戻ってきて軽食をとります。
 ※行動範囲: 2,610m～3,952m。最高宿泊地3,402m。高山病の影響ややあり。

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	大阪・名古屋発 台北(桃園)着/嘉義着	午前、大阪(関空)・名古屋発→台湾の台北(桃園)へ。着後、専用車で嘉義へ。 【嘉義泊】
2	嘉義発 奮起湖着/阿里山着	朝、嘉義駅へ。阿里山森林鉄道で奮起湖駅へ。奮起湖駅の乗り換え時間に、老街の散策と名物駅弁の昼食をとり、再び鉄道に乗り、阿里山へ。阿里山着後、軽ハイキングにご案内します(徒歩1～2時間)。 【阿里山泊】
3	阿里山発 タタカ鞍部着/排雲山荘着	朝、車で上東埔へ。シャトルバスに乗り換え、登山口のタタカ鞍部(2,610m)へ。午前、登山開始。緩やかな整備された登山道を進み、途中、休憩ポイントで休憩しながら排雲山荘(3,402m)へ(徒歩約6時間)。 【排雲山荘泊】
4	排雲山荘発 タタカ鞍部着/台中着	未明、ヘッドランプの明かりを頼りに出発。森林限界を抜けジグザグの登りを繰り返し、山頂直下の岩場を切り切ると玉山山頂(3,952m)です。天候により、ご来光と大展望をお楽しみいただけます。その後、排雲山荘まで下り、軽食と休憩後、タタカ鞍部登山口へ下山(徒歩約8.5時間:登り約2.5時間、下り約6時間)。午後、シャトルバスと専用車で水里へ(車約2時間)。水里で夕食後、台中へ(約1時間)。 【台中泊】
5	台中発 台北(桃園)着/大阪(関西)着	午前、専用車で桃園空港へ。午後、台北(桃園)発→夕方、大阪(関西)着。 【大阪泊】
	台中発 台北(桃園)着/名古屋着	午前、専用車で桃園空港へ。その後、桃園市内のレストランで「小籠包」の昼食。その後、桃園空港へ。夕方、台北(桃園)発→夜、名古屋着。 【名古屋泊】

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更されることがあります。



▲台湾最高峰の玉山(3,952m) 登山で宿泊する排雲山荘(3,402m)へと登る

台湾最高峰“玉山”①

台湾の最高峰で標高は3,952m。日本の富士山よりも高く、かつては日本名で新高山(にいたかやま)と呼ばれていました。山頂からのご来光が人気で、地元台湾や海外からたくさんの方々が山頂をめざします。



▲台湾最高峰玉山

台湾最高峰“玉山”②

玉山は主峰を中心に十字に尾根が伸び、このコースでは西稜にあるタタカ鞍部から登り始めます。森の中から登りはじめ、登るにつれ、岩場とザラザラとした斜面となり、雄大な展望の山頂に到着します。



▲玉山山頂からのご来光

排雲山荘

玉山の山小屋“排雲山荘”は玉山の山中、標高3,402mにある山小屋で宿泊人数は約100名。設備は質素ながらもよく整えられ、玉山山頂を目指す前日は、登山に備えて快適に過ごすことが出来ます。



▲玉山の山小屋排雲山荘

阿里山森林鉄道

世界三大山岳鉄道の1つといわれ、標高差は2500m。車窓からは熱帯から寒帯までの植生の変化や深い谷、高峰などの景観を見ることができます。



▲阿里山森林鉄道

マッターホルン登山基地に泊まり山岳ロマンにひたる

お申込みは
こちら

憧れのヘルンリ小屋に泊まる スイス山小屋スペシャル 8日間

憧れの名峰マッターホルンの麓に建ち、誰もが一生に一度は訪れてみたいヘルンリ小屋とベルナーオーバーラント三山の大自然を望むロープホルン小屋に宿泊しアルプスに浸ります。趣きの異なる2つの山小屋での滞在と絶景のハイキングを楽しめます。コンパクトな日程で達成感を味わうことのできる人気コースです。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日		旅行代金	出発日～帰国日		旅行代金
残2	8/5(火)～8/12(火)	¥758,000	残6	8/26(火)～9/2(火)	¥748,000
残3	8/14(木)～8/21(木)	¥776,000			

- 燃油サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約75,000円)が別途必要です。今後変更になる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはチューリッヒからチューリッヒまで同行します。
- 最少催行人数:10人 ● 食事:朝5回、夕2回 ● 一人部屋利用追加料金:¥46,000
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。グリンデルワルト/ダービー、ヒルシェン、アイガーブリック ツェルマット/アルペンブリック、ダービー、イエガーホフ、エミゼウス
- 利用航空会社:エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、ターキッシュエアラインズ

※積雪・残雪等の状況によっては、日程表内に記載しているハイキングができない場合があります。ツアーリーダーが別のハイキングへご案内いたします。
※予定のハイキングコースは天候との条件により変更される場合があります。従ってスケジュール表の【 】内に記載された行動の際の登山電車代、ロープウェイ代などは旅行代金に含まれておりません。(総額の目安は約5,000円です。)



マッターホルンの登山基地、ヘルンリ小屋に泊まる

世界中の人々を魅了するスイスの名峰マッターホルン(4,478m)。天高く聳えるその頂を目指すクライマーたちがアタック前日に宿泊するのが標高3,260mに建つヘルンリ小屋です。この特別な山小屋に宿泊しクライマーの雰囲気を感じるとともに、巨大なマッターホルンの迫力を感じてみましょう! 登り出し地点まで行き本物のマッターホルンに触れることもできますので、忘れられない貴重な体験となるでしょう。
対照的にロープホルン小屋は素朴で家庭的な温かい雰囲気の中、静寂な朝夕の絶景に出会うことのできるのが魅力です。

ヘルンリ小屋① ヘルンリ小屋②

標高3,260mに建ち、マッターホルンの山頂を目指すクライマーが宿泊するヘルンリ小屋。眼前にはマッターホルンがまるで壁のように圧倒的な迫力で聳えます。

山小屋は近年改装され快適な滞在が楽しめます。小屋のテラスからは壮大な景色が満喫できたり、本物のマッターホルンにタッチしてクライマー気分も楽しめます。



▲3,260mに建つヘルンリ小屋



▲岩尾根を登りマッターホルンに近づく

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東経由都市 着	夜、東京発→中東経由都市へ。 ☐☐機【機中泊】
2	中東経由都市 発 チューリッヒ 着/発 グリンデルワルト 着	中東経由地発。チューリッヒからグリンデルワルトへ 未明、中東経由地着→飛行機を乗り継ぎ→チューリッヒへ。 ☐☐専用車でグリンデルワルトへ(約3時間)。 機機☐【グリンデルワルト泊】
3	グリンデルワルト 発 アイガー展望ハイキング ロープホルン小屋 トレッキング 1日目 ロープホルン小屋 着	☐☐ターミナル駅経由、アイガーエクスプレスでアイガー グレッチャー駅(2,320m)へ。★名峰アイガーを望みな がら足慣らしハイキング(徒歩約1時間)。 ☐☐ラウターブルネンへ。☐☐路線バスとロープウェイを乗り継ぎズル ワルト(1,530m)へ。★好展望が広がるロープホルン小 屋(1,955m)を目指します(徒歩約2.5時間)。 朝☐☐☐【ロープホルン小屋泊】
4	ロープホルン小屋 発 ロープホルン小屋 トレッキング 2日目 ツェルマット 着	★美しい山々の景色を眺めながら、グリュッチアルプ (1,486m)まで下りのハイキング(徒歩約3.5時間)。 ☐☐☐ロープウェイと列車を乗り継ぎツェルマット (1,620m)へ(約3時間、乗り換え4回)。 朝☐☐☐【ツェルマット泊】
5	ツェルマット 発 逆さマッターホルン 山上湖トレッキング ヘルンリ小屋 トレッキング 1日目 ヘルンリ小屋 着	【☐☐ブラウヘルト(2,571m)へ。★逆さマッターホルン を映す山上湖”シュテリゼー”まで往復します(徒歩約1.5 時間)。 ☐☐ツェルマットに戻ります。】☐☐シュワルツゼー (2,583m)へ。★岩がちな尾根道を登りマッターホルン (4,478m)の岩壁基部に建つヘルンリ小屋(3,260m) へ(徒歩約3時間)。 朝☐☐☐【ヘルンリ小屋泊】
6	ヘルンリ小屋 発 ヘルンリ小屋 トレッキング 2日目 ツェルマット 着	★往路を下ります(徒歩約2.5時間)。 ☐☐ロープウェイで、 ツェルマットへ。着後、フリータイム。 朝☐☐☐【ツェルマット泊】
7	ツェルマット 発 チューリッヒ 着/発 中東経由都市 着	☐☐☐列車を乗り継ぎチューリッヒへ(約3.5時間)。 チューリッヒ発→飛行機にて中東経由都市へ。 朝☐☐機【機中泊】
8	中東経由都市 発 東京 着	未明→中東経由都市で乗り継いで→東京へ。 夕刻、東京着。 機☐☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲ヘルンリ小屋で迎える朝



▲大展望が広がるロープホルン小屋



▲逆さマッターホルンを映す山上湖シュテリゼー

ナミビアから南アフリカへ、赤く美しい砂丘に登り、季節限定の花に出会う旅

お申込みはこちら



ナミブ砂漠と花の楽園ナマクワランド、世界三大瀑布ビクトリア・フォールズ 13日間

南アフリカのナマクワランド一帯の原野一面にワイルドフラワーが咲く季節限定の特別企画です。ナミビアのウォルスベイから南アフリカのケープタウンまでアフリカ大陸南西端を北から南へ約1,600kmを縦断します。荒涼としたナミビアの大地から花咲く南アフリカへと、国境越えの日の色彩の変化は圧巻です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
残5 8/20(水)～9/1(月)	¥1,238,000



- 燃油サーチャージ(2025年6月1日現在目安約60,000円)が別途必要です。今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=ジンバブエ、ザンビア/ジンバブエ・ビザ実費45USDドル、ザンビア・ビザ実費50USDドル+申請料金4,400円(2025年6月1日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員): 東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ● 食事: 朝10回、昼8回、夕10回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。ウォルスベイ/プロテアベリカンベイ ケープタウン/ポーツワッツホテル ビクトリアフォール/エレファントヒル
- 一人部屋利用追加料金: ¥118,000(ロッジ泊、テント泊を含む)
- 利用予定航空会社: エチオピア航空、キャセイパシフィック航空、全日空、南アフリカ航空、大韓航空

※花の開花状況は毎年の気象条件により異なります。花の咲き具合により上記日程表中の場所ではワイルドフラワーが見られない場合、訪問地やハイキングコースを変更する場合があります。



▲ナミブ砂漠最奥のデッド・フレイ(4日目)

ナマクワランド

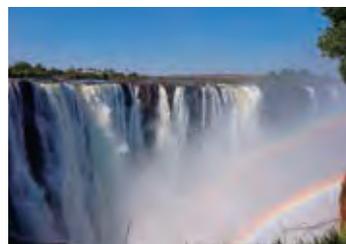
南アフリカ北ケープ州の乾燥地帯ナマクワランドは一年一度、8月から9月(南半球の春)の驚異的ともいえる花の群生のすばらしさによって、世界屈指の野性の花の宝庫として知られています。



▲ナマクワ国立公園内のトレイルをハイキング、ナマクワデジのオレンジが美しい(7日目)

ビクトリア・フォールズ

ジンバブエとザンビアの国境に位置する世界三大瀑布のひとつ。イギリスの探検家リ빙グストンによって世界に紹介されたこの大瀑布は幅1701m、落差118mという圧倒的スケールを誇ります。



▲世界三大瀑ビクトリア・フォールズ(12日目)

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 東南アジア内都市 着/発	午後、東京発→東南アジア内都市で乗り継ぎ→エチオピアのアジスアベバへ。 【機中泊】
2	アジスアベバ 着/発 ウォルスベイ 着	アジスアベバで乗り継ぎ→大西洋岸のウォルスベイへ。午後、月面のような風景が広がる ムーン・ランドスケープ を訪れます。 【ウォルスベイ泊 】
3	ウォルスベイ 発 セスリエム 着	世界遺産のナミブ砂漠の中心地セスリエムへ(約5時間)。 【セスリエム泊 または 】
4	DUNE45登頂 ソッサスフレイ デッド・フレイハイキング セスリエム 発 マリエンタル 着	朝、登山口(610m)へ。 ナミブ砂漠で最も人気の高い美しい砂丘DUNE45(710m)に登ります。赤色の砂丘群の大パノラマを満喫します(徒歩約45分)。 その後、 ソッサスフレイ へ。 枯れたアカシアの木が残るデッド・フレイを、徒歩で訪ねます(徒歩約1時間)。 マリエンタル近郊へ(約5時間)。 【マリエンタル泊 】
5	マリエンタル 発 ブッシュマン・ウォーク キバーツリーの森 フィッシュ・リバー・キャニオン 着	朝、 サン族(ブッシュマン)の末裔とともにカラハリ砂漠をウォーキング(徒歩約1時間)。 乾燥した大地で狩猟民族として暮らす秘訣を教わります。午後、 アフリカの大地に生える キバーツリーの森 を見学。その後、ナミビア南部のフィッシュ・リバー・キャニオンへ。 【フィッシュ・リバー・キャニオン泊 】
6	フィッシュ・リバー・キャニオン 発 フィッシュ・リバー・キャニオン スプリングボック 着	午前、 アフリカ最大級の大渓谷 フィッシュ・リバー・キャニオン へ(約2時間)。 渓谷を見下ろす展望台を散策(徒歩約1時間)後、 国境を越えて南アフリカへ。ナマクワランドの中心の街 スプリングボック 近郊へ(約4時間)。 【スプリングボック近郊泊 】
7	スプリングボック 滞在 ナマクワ国立公園ハイキング グーギャップ自然保護区	終日、スプリングボック近郊滞在。 午前、 ナマクワ国立公園 へ(約1時間)。 園内につけられたトレイルを花を愛でながらハイキング(徒歩約3時間)。 午後、 グーギャップ自然保護区 に立ち寄り、フラワー・ウォッチングを楽しみます。 【スプリングボック近郊泊 】
8	スプリングボック 発 多肉植物養育場 ハンタム国立植物園 クランウィリアム 着	朝、 ヴァンリンズドルブの多肉植物養育場 へ(約3.5時間)。その後、 ハンタム国立植物園 へ(約1時間)。午後、 園内の花を愛でながら散策(徒歩約1時間)。 セダーバーグ山麓の玄関口の クランウィリアム へ(約2時間)。 【クランウィリアム泊 】
9	クランウィリアム 発 ウエストコースト国立公園ハイキング ケープタウン 着	朝、 ウエストコースト国立公園 へ(約3時間)。 園内に作られたトレイルをハイキング(徒歩約1.5時間)。 午後、園内の自動車専用道路を回り、フラワー・ウォッチング。 ケープタウンへ(約2時間)。 【ケープタウン泊 】
10	ケープタウン 滞在 テーブルマウンテン見学 ケープポイントハイキング	終日、ケープタウン滞在。 ロープウェイで テーブルマウンテン山頂 へ。 テーブルマウンテンの頂上台地を見学。 午後、ケープポイントへ(約1.5時間)。 ケープポイントにて軽ハイキング(徒歩約1時間)。 【ケープタウン泊 】
11	ケープタウン 発 ビクトリア・フォールズ 着 ザンベジ川サンセット・クルーズ	朝、ケープタウン発→ヨハネスブルグで乗り継ぎ、ジンバブエの ビクトリア・フォールズ またはザンビアのリヴィングストンへ。夕刻、 ザンベジ川のサンセット・クルーズ (約2時間)をお楽しみいただきます。 【ビクトリア・フォールズ泊 】
12	ビクトリア・フォールズ国立公園 ビクトリア・フォールズ 発 アジスアベバ 着/発	世界遺産のビクトリア・フォールズ周辺を散策(徒歩約1時間)。 午後、ビクトリア・フォールズまたはリヴィングストン発→アジスアベバで乗り継ぎ、→東南アジア内都市へ。 【機中泊】
13	東南アジア内都市 着/発 東京 着	東南アジア内都市で乗り継ぎ、→東京へ。夜、東京着。 【機中泊】

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

チベット本土よりチベットらしい伝統と文化が残る美しい大地へ

お申込みは
こちら

インド・ラダック・ヒマラヤ探訪と 天空の湖、タージマハル 10日間

インドの辺境地ラダックの中心地がかつての王国の首都であるレーを基点に、ゴツァン僧院やラダックの中でもっとも美しい谷といわれるヌブラ谷をハイキング。また、チベット国境にある紺碧の湖「パンゴンツォ」も訪れます。レー到着後に標高のより低いアルチで1泊することで、高所順応にも配慮した日程となっています。世界最高建築のひとつといわれるタージマハルも訪れます。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
8/29(金)～9/7(日)	¥698,000

私がご案内します

渡部 秀樹
(わたなべ ひでき)

- 燃油サーチャージ (2025年6月1日現在約18,000円～42,000円) が別途必要です。
- 観光ビザ (実費1,250円+申請料金4,400円、2025年6月1日現在、手数料・消費税込み) の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー (添乗員): 東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ● 食事: 朝8回、昼8回、夕7回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。デリー/ザ・プライド、レモンツリー、ノボテル、アイティーシーウエルカムドワリカ、ヴィバンタバイタジ、ラディソン、ホリデーイン、プラジオ、グラインド、クラウンプラザ
- 一人部屋追加料金: ¥160,000 (ロッジ泊を含む)
- 利用予定航空会社: エアインディア、日本航空、全日空

紺碧の湖パンゴンツォ

パンゴンツォは中国チベット自治区とインド国境にまたがるアジア最大級の高山汽水湖です。全長は約150kmあり、面積の3分の2は中国チベット自治区、3分の1はインド領内に属し、インド側は塩分濃度が濃く、チベット側は淡水に近く、場所によって水の成分は違います。地元の言葉でパンとは草、ゴンとは塊、ツォは湖の意味をなし、太古の昔には豊かな草原があった可能性が伝えられています。標高4,250mの高地にあり、真つ青な空と赤茶けた岩山をバックに、まさに紺碧の湖と言われる風景が広がります。



▲チベットのポタラ宮をおもわせるティクセ・ゴンバ

【日程】①夕午前、東京発→デリー泊 ②→ラダックのレー (3,600m) へ。③**ラムユル僧院**④アルチ (3,200m) 泊 ⑤**ヘミス僧院**⑥**ゴツァン僧院**往復 (徒歩約3時間) ⑦ティクセゴンバ⑧レー泊 ⑨**ヌブラ谷** (3,200m) ⑩**ディスキット** (徒歩約2時間) ⑪ヌブラ谷泊 ⑫**パンゴンツォ** (4,250m) ⑬レー泊 ⑭**レー市内観光** ⑮→デリー⑯**アグラ**泊 ⑰**世界遺産「タージマハル、アグラ城」**見学 ⑱**世界遺産「ファタープル・シクリ」**見学→デリー着/発 ⑲→東京着

固有種が多い西ガーツ山脈の花を訪ねてハイキング

ZFWLGE



インドの世界遺産・西ガーツ山脈フラワーハイキングと エローラとアジャンター2つの石窟群 9日間

お申込みは
こちら

西ガーツ山脈はインド西海岸沿い南北1,600kmにわたり、標高1,000～2,500mの山々が連なる場所です。ここは世界で最も生物の多様性に富む8大スポットのひとつで、2012年ユネスコの世界自然遺産に登録されました。雨期明けの時季にフラワーハイキングを楽しみ、世界遺産の2つの石窟群も訪問します。

発着地 東京・大阪

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
9/15(月)～9/23(火)	¥598,000

私がご案内します

渡部 秀樹
(わたなべ ひでき)

- 燃油サーチャージ (2025年6月1日現在: 目安約52,000円) が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- 観光ビザ (実費1,250円+申請料金4,400円、2025年6月1日現在、手数料・消費税込み) の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー (添乗員): 東京から東京または大阪から大阪まで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ● 食事: 朝7回、昼7回、夕6回
- 利用予定ホテル: Cクラス以上。ムンバイ/アンバサダー、サタラ/マハラジャリージェンシー
- 一人部屋利用追加料金: ¥92,000
- 利用予定航空会社: シンガポール航空、タイ航空、エア・インディア

固有種が多い西ガーツ山脈の花を訪ねハイキング

インド西岸には西ガーツ山脈という1,000m～2,500mの山並みが南北に連なります。今回は西ガーツの中部、コース高地を訪れフラワーハイキングを楽しみます。コース高地は、標高約1,200mの玄武岩の台地からなり、台地の上にはなだらかな草原が広がります。周辺には固有種を含む約850種類もの植物が自生し、生物種の多様なスポットとして注目を集めています。8月下旬から10月下旬にかけては、草原一帯が花で覆われ、ひととき花の高原となります。ぜひ花咲くコース高地の花旅をお楽しみください。



▲テーブルマウンテン状の大地はお花畑に

【日程】①午前、東京・大阪発→ムンバイ泊 ②**デカン高原**へ。③**サジャンガール**見学 ④**サタラ**泊。⑤**世界遺産「西ガーツ山脈」コース高地フラワーハイキング** (徒歩約2時間) ⑥**世界遺産「西ガーツ山脈」コース高地フラワーハイキング** (徒歩約2時間) ⑦**アウランガバード**泊 ⑧**世界遺産「アジャンター石窟群」**見学 ⑨**世界遺産「エローラ石窟群」**見学 ⑩**ムンバイ**着/発 ⑪→東京・大阪着

お申込みは
こちら



ツール・ド・モンブラントレッキング 10日間

4つの峠を越えて、5つの谷を結ぶ、大人気のツール・ド・モンブラントレッキングへご案内します。フランス、イタリア、スイスをめぐり、峠から峠へと高度差400mから1,500mを登降する健脚向きのコースです。迫力の氷河、雄大な氷河谷、山上湖、お花畑、間近に迫る雄大な名峰など変化に富む景観をお楽しみください。

発着地 東京

歩行時間	宿泊高度	宿泊施設	
出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
満席 7/6(日)～7/15(火)	¥736,000	大募集 8/31(日)～9/9(火)	¥728,000

- 燃油サーチャージ(2025年6月1日現在約75,000円)が別途必要です。
- ツアーリーダー(添乗員): 東京から東京またはジュネーブからジュネーブまで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ● 食事: 朝7回、昼5回、夕6回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。シャモニ/パークホテルスイス、レ・プリオレ
- 一人部屋利用追加料金: **¥112,000** (山小屋泊を除く)
- 利用予定航空会社: エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空



私が案内します
田中 駿 (たなか しゅん)

※このコースは日本での山小屋縦走(夏山)程度の体力が必要です。

※天候・残雪の状況やご参加者のコンディションによっては、コースを変更して代替ルートやエスケープルートをとったり、コースの一部を割愛・省略することがあります。これらの決定に際してはツアーリーダー及び現地ガイドの判断と指示に従っていただきますようお願いを申し上げます。

- トレッキングには、ツアーリーダーと現地トレッキング・ガイドが同行します。山小屋は寝具・食事つき。
- トレッキング中、着替えや使用済み衣類を、以下の通りに回送します。衣類を入れるための袋・バッグを1つご用意ください。スーツケース類はシャモニへ置いていきます。
 - ・4日目の朝: シャモニのホテル → 5日目のクールマイユールのホテルへ。
 - ・6日目の朝: クールマイユールのホテル → 7日目のトリヤンの山小屋へ。
 - ・8日目の朝: トリアンの山小屋 → 8日目のシャモニのホテルへ。

世界的に人気の3カ国周遊トレッキング

アルプス最高峰モンブランを盟主とするモンブラン山群。このモンブラン山群を一周するトレッキングコースは「ツール・ド・モンブラン」と呼ばれ、フランス、イタリア、スイス3カ国の国境の峠を歩いて越える、変化に富んだ山岳コースです。一日の登りが高度差400mから1,300m、下りが高度差800mから1,500mで、こうした登り、下りが5日間続きますので、夏の日本アルプスでの縦走をこなせる体力が必要です。アルパインツアーではご参加者が背負う荷物の量を減らすため、トレッキング中に荷物の回送サービスを行います。各山小屋は、寝具・食事付きですので、背負って歩くのは着替えや個人装備とその日の昼食です。なお、シーズンの初めには、峠付近などに部分的に残雪があります。



▲シーズンには多くの花が見られるツール・ド・モンブラン。お花畑の中を、セーニュのコルへと登る

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東經由都市 着	夜、東京発 → 中東經由都市へ。 ☐☐☐機【機中泊】
2	中東經由都市 発 ジュネーブ 着/発 シャモニ 着	中東經由都市で乗り継ぎ → ジュネーブへ。 ☐☐☐専用車でフランスのシャモニ(1,036m)へ(約1.5時間)。 ☐☐☐☐【シャモニ泊】
3	シャモニ 滞在 エギーユ・デュ・ミディ 展望台 シャモニ針峰群展望ハイキング	シャモニ観光のハイライト、☐エギーユ・デュ・ミディ展望台(3,842m)へ。モンブランをはじめとした名峰を望みます。その後、中間駅(2,310m)へ下り、☐シャモニ針峰群の中腹をグランドジョラス北壁や尖峰ドリュ、メル・ド・グラス氷河を眺めながら、モンタンパール(1,909m)までハイキング(徒歩約4時間)。その後、☐☐☐シャモニへ。 ☐☐☐☐【シャモニ泊】
4	シャモニ 発 トレッキング1日目 エリザベッタ小屋 着	☐☐☐専用車でグラシエ村(1,789m)へ。☐ここから登り始めセーニュのコル(2,516m)を越えて、エリザベッタ小屋(2,258m)へ(徒歩約5時間)。 ☐☐☐☐【エリザベッタ小屋泊】
5	エリザベッタ小屋 発 トレッキング2日目 クールマイユール 着	☐コンバル湿原(2,000m)へ下り、ここから急登を峠(2,420m)へ。モンブランからグランドジョラスまでイタリア側の展望のハイライトが続く道をシェクルイのコル(1,956m)へ(徒歩約5時間)。☐ロープウェイでクールマイユールへ下ります。 ☐☐☐☐【クールマイユール泊】
6	クールマイユール 発 トレッキング3日目 ボナッティ小屋 着	☐ベルトネ小屋(2,000m)を經由しボナッティ小屋(2,022m)を目指します。グランド・ジョラスの展望が素晴らしいコースです(徒歩約5.5時間)。山小屋でも静寂のひとつときをお過ごしください。 ☐☐☐☐【ボナッティ小屋泊】
7	ボナッティ小屋 発 トレッキング4日目 トリヤン 着	☐モンドラン(3,823m)を仰ぐフェレ谷のエレナ小屋まで下り、イタリア/スイス国境にある好展望のフェレのコル(2,537m)へ登ります。その後スイス側のラ・フリー村まで下ります(徒歩約6時間)。☐☐専用車でトリヤン(1,300m)の山小屋へ。 ☐☐☐☐【トリヤン泊】
8	トリヤン 発 トレッキング5日目 シャモニ 着	☐トレッキング最後の峠でスイス/フランス国境のバルムのコル(2,191m)へ。シャモニ谷とモンブラン山群、メル・ド・グラス氷河などのパノラマ展望をお楽しみください(徒歩約4時間)。☐リフトとゴンドラで、ル・トゥールへ。☐路線バスでシャモニへ。午後、シャモニの街でお過ごしください。 ☐☐☐☐【シャモニ泊】
9	シャモニ 発 ジュネーブ 着/発 中東經由都市 着	早朝、☐☐ジュネーブへ。午前、ジュネーブ発 → 中東經由都市へ。 ☐☐☐機【機中泊】
10	中東經由都市 発 東京 着	中東經由都市で乗り継ぎ → 東京へ。夕刻、東京着。 ☐☐☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

セーニュのコルを越えて 展望のシェクルイのコル

グラシエ村からスタートし気持ちよい高原をエリザベッタ小屋へ。

イタリア側から迫力のモンブラン山群を眺めクールマイユールへ。



▲エリザベッタ小屋へと歩く



▲モンブランの迫力ある南面を眺めながら、シェクルイのコルへ

大人気のロッジに4連泊する1本限定の特別企画

アシニボイン・ロッジ滞在 秋のスペシャル・ハイキング 9日間

お申込みは
こちら

ロッキーで最も予約が困難な宿の一つであり、世界中のハイカーにとって憧れのアシニボイン・ロッジになんと4連泊。バラエティーに富んだ連日の黄葉ハイキングはもちろんのこと、4連泊ならではの贅沢な時間が味わえる山旅は、過去に夏のアシニボインのツアーに参加された方も、秋の魅力を楽しめる特別企画です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
9/15(月)～9/23(火)	¥920,000

残り4

私のご案内します
徳崎 洋昭
(しのぎきひろあき)

- 燃油サーチャージ (2025年6月1日現在: 目安約66,000円) が別途必要です。今後変更になる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- カナダETA (=電子渡航認証システム、実費7CADドル+申請料金4,400円、2025年6月1日現在、手数料・消費税込み) の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー (添乗員): カルガリーからカルガリーまで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ● 食事: 朝7回、昼6回、夕6回
- 利用予定ホテル: Cクラス以上。キャンモア/キャンモア・イン・アンド・スイーツ パンフ/プリュースター・マウンテン・ロッジ
- 一人部屋利用追加料金: ¥82,000 (ロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社: エア・カナダ、ウエストジェット航空

カナディアンロッキーの 秋の魅力が全て詰まっています

標高2,000mを越えるアシニボインの山域は、9月中旬から黄葉に色づき始めます。美しいカラマツの森、壮大なロッキー山脈、真っ青に染まる氷河湖のコントラストは秋ならではの魅力です。まる3日間このエリアの魅力的なハイキングコースを楽しむことができます。アシニボイン東壁の絶壁を望むカタリーメドウ、秋の時期に最も深いコバルトブルーに染まるマーベルレイク、ナブレットは絶対に外せないコース。Mt.アシニボインと3つの氷河湖の大パノラマは、まさに旅のハイライトです。



▲ナブレットからのアシニボイン

アシニボイン山麓 ハイキング①

世界中のハイカー憧れのロッジに4連泊するスペシャル企画。カラマツの黄葉がピークを迎えるこの季節にアシニボイン山麓のハイキングを存分に堪能します。



▲バリエーションに富んだハイキングコース

アシニボイン山麓 ハイキング②

毎日ロッジを起点にハイキングへ出かけます。カラマツの森や氷河湖展望、コバルトブルーの湖を訪ねるコースなど、天候に応じてベストなコースへご案内します。



▲黄葉に彩られたエリザベスレイク湖畔を歩く

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 カルガリー 着/発 キャンモア 着	東京発▶バンクーバーで乗り継ぎ▶カルガリーへ。到着後、ロッキーのゲートタウンであるキャンモアへ (専用車約1.5時間)。 【キャンモア泊 】
2	キャンモア 発 ラーチバレー・ ハイキング バンフ 着	専用車で バンフ国立公園 のモレーンレイクへ。美しい湖畔の景色を楽しんだ後、ロッキーで一番人気のトレイルの一つ、ラーチバレーを歩きます。樹林帯をジグザグに登り、亜高山帯に広がるラーチ (カラマツ) の森を目指します。森林限界を越えた先には、テンピークスの山々が連なる壮大な景色が待っています (徒歩約4.5時間)。 【バンフ泊 】
3	バンフ 発 アシニボイン山麓 半日ハイキング アシニボイン・ロッジ 着	ロッジに持って行かない荷物 (スーツケース) はキャンモアの事務所に預け、専用車でヘリポートへ向かいます。最大6人乗りのヘリに乗り込み、わずか10分ほどのフライトで一気 Mt.アシニボイン州立公園の山域に入山。絶景のロケーションに建つアシニボイン・ロッジに4連泊します。ロッジ到着後、お部屋割りやロッジの説明を済ませた後、半日ハイキングにご案内します (徒歩約2~3時間)。 【アシニボイン・ロッジ泊 】
4・5・6	アシニボイン・ロッジ 滞在 アシニボイン山麓 ハイキング	丸3日間、ロッジを起点とした日帰りハイキングへご案内します。ナブレットと呼ばれる小ピークの山頂から望む名峰アシニボインと山嶺のカラマツの森、メイゴック、サンバースト、セルレアン の3つの氷河湖が広がる大パノラマは、まさに旅のハイライト。また、アシニボイン東壁とマーベルレイク展望地へのコース、色づくカラマツの森が広がるワンダーパスからカタリーメドウへ抜けるコースなど、丸3日あるので、とても贅沢なハイキングを楽しむことができます。コースは非常にバラエティーに富んでいるため、天候等の状況に応じてツアーリーダーがベストなコースへご案内します (徒歩約5~6時間)。 【アシニボイン・ロッジ泊 】
7	アシニボイン・ロッジ 発 バンフでの フリータイム バンフ 着	朝食後、別れを惜しみながらヘリでの下山の準備をします。ヘリポートに到着後、専用車に乗り込みバンフの町へ。ホテルにチェックインした後は、夕食までバンフの町でのフリータイムをお楽しみください。メインストリート沿いのお店のショッピングや、ボウ川沿いの散策もおすすめです。 【バンフ泊 】
8	バンフ 発 バンクーバー 着/発	バンフ発カルガリー空港へ (専用車約2時間)。バンクーバーで乗り継ぎ▶東京へ。 【機中泊】
9	東京 着	▶午後、東京着。

*航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

山奥とは思えないほどの絶品の食事

山奥に建つ宿泊施設でありながらも、洗練された食事やサービスが提供されるのもアシニボイン・ロッジの魅力の一つ。自家製のパンやケーキは全てロッジで焼いており、お肉や魚をメインに使ったオリジナルの日替わりメニューは、料理本が作られるほどバラエティーに富んでいます。また、食事の量も日本人に合った適量となっており、ご案内するお客様からは「町のレストランよりも遥かに美味しい!」と非常に評判です。



▲自由に寛げるリビングルーム



▲新鮮な野菜やフルーツを使った料理ばかり

お申込みは
こちら

秋のドロミテ山群 ベストハイキング 10日間

9月中旬からのドロミテはシーズンオフになるため、本来の静けさを取り戻します。自然を本当に愛する方にとって、秋のドロミテを訪れることは最も適した季節と言えます。今回は美しく色付く自然を楽しみながら歩けるハイキング10コースを用意しました。カラマツやブナの木が圧倒的に美しく輝きを見せる秋のドロミテを満喫してください。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホテル)

出発日～帰国日	旅行代金
残5 9/15(月)～9/24(水)	¥962,000



- 燃油サーチャージ (2025年6月1日現在72,000円) が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー (添乗員): 東京から東京までまたはベネチアからベネチアまで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ● 食事: 朝7回、昼6回、夕5回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。コルチナ/セレナホテル ラ・ビナ/チアサソレイル オルティセイ/ガルニスタルトナーオーフ
- 一人部屋利用追加料金: ¥120,000
- 利用予定航空会社: エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、ターキッシュエアラインズ

ドライ・チンネンハイキング

数あるドロミテの岩峰の中でも特に代表的な岩峰と言われるのが、ドライ・チンネンです。そびえ立つ大岩峰の裾野を、高原台地や山小屋をめぐって岩峰群を一周します。



▲秋のドライ・チンネンを歩く

コルチナ・ダンペッツォ オルティセイ

ドロミテの東の中心都市で、町にいたながらドロミテらしい山容を目にすることができます。町を貫くのは歩行者天国の石畳の坂道「コルソ・イタリア」。夏、冬ともに多くの観光客で賑わう高級リゾート地で1956年に引き続き2026年の冬季オリンピックの開催都市に決まっています。

ドロミテ西部、ガルテナ谷の入口に位置する人気のリゾート街。第一次世界大戦まではオーストリア領だったので、この地域ではドイツ語とイタリア語の二通りの表記になっています。ドイツ語ではザンクトウルリッヒ。伝統的な木彫りの民芸品が名物となっています。



▲ドロミテの女王と呼ばれるコルチナ



▲サツルンゴを遠望するオルティセイの街

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東経由都市 着	夕刻、東京発→中東経由都市へ。 ☐☐☐【機中泊】
2	中東経由都市 発 ベネチア 着/発 コルチナ 着	未明、中東経由都市発→ベネチアへ。着後、☐☐専用車で、東チロル最大の山岳リゾート、コルチナへ(約2時間)。 ☐☐☐【コルチナ泊 H】
3	コルチナ 滞在	①早朝、☐☐専用車でディボナ小屋へ。☐☐コルチナを代表する山・トファーナ・ディ・ローゼズの麓に広がる景観豊かなルートを歩きます。 ②☐☐コル・ロザ麓の美しい森を尾根道をたどり、サン・ウベルトで渓谷に戻って(徒歩約5時間)、☐☐専用車でコルチナへ戻ります。 ☐☐☐☐【コルチナ泊 H】
4	コルチナ 滞在	③☐☐専用車でオーロンツォ小屋(2,320m)へ。☐☐垂直の大北壁をもつ3つの岩峰ドライ・チンネンを一周ハイキング。その後、専用車でコルチナへ戻ります。 ☐☐☐☐【コルチナ泊 H】
5	コルチナ 発	④朝、☐☐路線バスでファルツァレゴ峠へ(約30分)。☐☐☐ケーブルカーでラガツォイ小屋へ上がり、展望地からの眺めを満喫した後、峠までの下山ルートを歩きます。 ⑤☐☐☐ケーブルカーでスコイアットリ小屋へ上がり、5つの巨塔が聳えるチンクエットリ展望ハイキング(徒歩約5.5時間)。峠から☐☐専用車でアルタ・バディア地方のラ・ヴィラへ。 ☐☐☐☐【ラ・ヴィラ泊 H】
6	ラ・ヴィラ 滞在	⑥朝、☐☐リフトにてプラロンジャ高原(2,157m)へ。☐☐ハイキング開始、ピッツ・ラ・イラ(2,078m)からはアルプスらしい牧草地帯の歩きになります。有名なトファーナ山群の展望が素晴らしいです。 ⑦コルバラから☐☐リフトで約2500mの標高まで上り、☐☐フランツコストナー小屋までのハイキング。ピッツ・ボエ(3152m)などセツラ山群の山々が美しいです。往路をラ・ヴィラに戻ります(徒歩約4.5時間)。 ☐☐☐☐【ラ・ヴィラ泊 H】
7	ラ・ヴィラ 発 オルティセイ 着	⑧朝、☐☐リフトでガーデナツチャ峠(標高約2,543m)へ。☐☐ここからプエズ小屋まではマルモラーダや周辺の山々の素晴らしい景色を眺めながらのハイキングです。小屋からは長い坂道を下り(徒歩約6.5時間)、美しい渓谷と村の風景を楽しみながら、バスでオルティセイへ。 ☐☐☐☐【オルティセイ泊 H】
8	オルティセイ 滞在	⑨朝、☐☐リフトでセチューダ展望台へ。☐☐ドロミテの名峰群を一望しながら、セチューダ山群往復ハイキング。 ⑩☐☐ロープウェイでシウジ高原へ上がり、☐☐サツルンゴやランフコウエルなどの美しい山々を眺めながらハイキング。往路をオルティセイへ戻ります(徒歩約5～6時間)。 ☐☐☐☐【オルティセイ泊 H】
9	コルチナ 発 ベネチア 着/発 中東経由都市 着	☐☐専用車でベネチアへ。 午後、ベネチア発→中東経由都市へ。 ☐☐☐☐【機中泊】
10	中東経由都市 発 東京 着	深夜、中東経由都市発→夜、東京着。 ☐☐☐☐

*航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲ラガツォイ小屋からの抜群の展望

カナディアンロッキーが黄金色に染まる秋

お申込みは
こちら

秋のカナディアンロッキー 黄葉ベストハイキング 9日間

9月になるとカナディアンロッキーはポプラやアスペン、カラマツが色つき、山域は黄金色に彩られます。新雪を抱いた山脈と青く輝く氷河湖、そして黄葉のコントラストは息を呑むほどの美しさです。嬉しい連泊型で黄葉ハイクを楽しみましょう。有名な景勝地にも訪れるため、ロッキー初体験の方にもお勧めです。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
残2 9/22(月)～9/30(火)	¥762,000



私がご案内します
石塚 体一
(いしづか たいいち)

- 燃油サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約58,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
 - 当コースは事前にカナダのeTA(電子渡航証)の取得が別途必要となります。詳しくはお問い合わせください。
 - ツアーリーダー(添乗員): カルガリーからカルガリーまで同行します。
 - 最少催行人数: 10人 ●食事: 朝7回、昼3回、夕4回
 - 利用予定ホテル: Cクラス以上。キャンモア/キャンモア・イン・アンド・スイーツ クロッシング/クロッシング バンフ/プリュースター・マウンテン・ロッジ
 - 一人部屋利用追加料金: ¥166,000
 - 利用予定航空会社: エア・カナダ、ウエストジェット
- ※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。

秋ならではの自然美を凝縮した 厳選のハイキングコース

本ツアーには、黄葉の見ごろを迎えるハイキングコースの名所を全てつめこみました。ロッキーを代表する氷河湖、モレーンレイクから始まり、3,000m級の山が連なるテンピークスとカラマツの黄葉の展望地を目指すラーチバレー、コロンビア大氷原を望むパーカーリッジ、ポプラの黄葉が一面に広がり、ロッキー山脈と大平原の広大な景色を望むMt.ヤムナスカなど、カナディアンロッキーならではの絶景ハイキングを楽しめます。また、氷河湖は季節とともに色彩が変化していきますが、秋の時期が最も青が濃く、深い色に染まることはあまり知られていません。黄葉と氷河湖が作り出す自然美は、まさに秋ならではの格別の美しさです。



▲雄大なテンピークスのパノラマが広がるラーチバレー

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 バンクバー 着/発 カルガリー 着/発 キャンモア 着	東京発→バンクバーで乗り継ぎ→カルガリーへ。到着後、専用車のゲートタウンであるキャンモアへ(専用車約1.5時間)。 機◎◎【キャンモア泊 H】
2	キャンモア 滞在 ターミガンサーク・ハイキング	専用車で州立公園群のカナナスクスへ。登山口は標高2,200mを越えたハイウッド峠にあり、森林限界近くの登山口から登り始めます。迫力のある岩壁の景観と、色づき始めたカラマツの森を眺めながらの紅葉ハイキングをお楽しみください(徒歩約2.5時間)。 朝◎◎【キャンモア泊 H】
3	キャンモア 滞在 チェスターレイク・ハイキング	キャンモアからスプレイレイク・ロードを南下し、カナナスクス西部にある登山口へ。モミヤトウヒの森を抜けて、山上にひっそりと佇むチェスターレイクを目指します(徒歩約4時間)。湖の周辺では鋭く聳える岩山と、カラマツの黄葉の景色を楽しむことができます。 朝◎◎【キャンモア泊 H】
4	キャンモア 発 ラーチバレー・ハイキング クロッシング 着	バンフ国立公園のモレーンレイク湖畔からハイキングを開始。樹林帯の中をジグザグに登り、テンピークスのパノラマとカラマツの黄葉が一面に広がる展望地まで往復します(徒歩約4.5時間)。その後、専用車でアイスフィールド・パークウェイを北上し、クロッシングへ。人里から離れた森の中にある宿に2連泊します。 朝◎◎【クロッシング泊 C】
5	クロッシング 滞在 パーカーリッジ・ハイキング アサバスカ氷河観光	アイスフィールド・パークウェイを北上し、登山口へ。森林限界の先にある尾根に上がり、コロンビア大氷原より流れ出るサスカチュワン氷河を見下ろす展望地を目指します(徒歩約2.5時間)。下山後、専用車でジャスパー国立公園へ移動し、アサバスカ氷河観光へ。氷河の先端近くまで歩き、雪と氷の世界を体感します。 朝◎◎【クロッシング泊 C】
6	クロッシング 発 レイクアグネス・ハイキング バンフ 着	バンフ国立公園のレイクルイーズへ。カナディアンロッキーの宝石と称される美しい湖、レイクルイーズの観光を存分に楽しんだ後、湖畔にある登山口からハイキングを開始。樹林帯を緩やかに登り、途中でレイクルイーズを眼下に望みながら、美しい山上湖レイクアグネスを目指します(徒歩約4時間)。下山後、専用車でバンフの町へ。人気のリゾートタウンに2連泊します。メインストリート沿いに連なるギフトショップや山道具屋でお土産を見たり、ポウ川沿いの散策路を歩くのもお勧めです。 朝◎◎【バンフ泊 H】
7	バンフ 滞在 ヤムナスカショルダー・ハイキング	専用車で大陸横断道路を東へ走りカナナスクスへ。カナディアンロッキー東側の玄関口にある巨大な屏風岩、圧倒的な存在感のあるMt.ヤムナスカの麓を歩き、絶景の展望地を目指します(徒歩約3~4時間)。眼下には広大なポプラの森が広がり、黄葉の最盛期に当たれば、一面が黄金色に染まる世界を楽しむことができます。秋の行楽シーズンは地元のハイカーにも大変人気なスポットです。 朝◎◎【バンフ泊 H】
8	バンフ 発 カルガリー 着/発	バンフ発→カルガリー空港へ(専用車約2時間)。バンクバーで乗り継ぎ→東京へ。 朝◎◎【機中泊】
9	東京 着	午後、東京着。 機◎◎

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲美しい山上湖レイクアグネス



▲ヤムナスカ山麓に広がるポプラの黄葉

広大な斜面が黄金色に染まる秋のベストシーズンに訪ねる

黄葉彩るアメリカン・ロッキー 秋のコロラド満喫ハイキング 9日間

お申込みは
こちら

一面に広がるゴールデンカラーと透き通る青い空とのコントラストが素晴らしい季節に、コロラドの魅力を体感します。黄金色に染まるアスピンの森やロッキー最高峰エルバート登山など山々に囲まれた可愛いスノーマスでの3連泊も魅力です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホテル)

出発日～帰国日	旅行代金
9/24(水)～10/2(木)	¥842,000

●燃油サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約73,000円)が別途必要です。今後変更になる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

●米国ESTA(エスタ=電子渡航認証システム、実費21USドル+申請料金4,400円、2025年6月1日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。

●ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはデンバーからデンバーまで同行します。

●最少催行人数:10人 ●食事:朝7回、夕7回

●利用予定ホテル:Bクラス以上。スノーマス/ストーン・ブリッジ・イン クレストッド・ピュート/イン・アット・クレストッドピュート、グラント、オールドタウン、エルク・マウンテンロッジ デンバー/スプリングヒル、クラウンプラザ、コートヤード、シェラトン、ハイアット、ヒルトン、ラマダ、ワーウィック

●一人部屋利用追加料金:¥98,000

●利用予定航空会社:ユナイテッド航空、アメリカン航空、デルタ航空、全日空、日本航空、エアカナダ

※このコースは、移動時の専用車をツアーリーダーが運転します。車両及びツアーリーダーは、現地手配会社に所属しています。なお、出発日や参加者数によっては、別途ドライバー・ガイドを手配する場合があります。

アメリカ中部、コロラド州の魅力

今回の旅の舞台は、アメリカン・ロッキーが州の中央部を縦断するコロラド州です。秋のコロラドの最大の魅力は黄金色に染まる美しい山岳景観です。西部に広がる開拓時代を彷彿させる大平原から、州内に54座もある4,000mを超える高山やその山麓に広がる湖沼群など、多彩な景色が迎えてくれることでしょう。



▲秋色に染まるハイキングシーズンを迎える

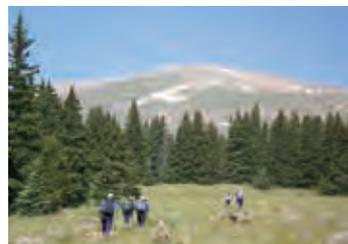
マルーンベル山の黄葉 コロラドロッキーの最高峰へ

コロラド州には美しい大自然が多くありますが、その中でもマルーンベル山周辺は特に素晴らしく、秋の黄葉が山麓のマルーン湖と青空、そしてマルーンベル山に映えるコントラストは絶景です。

コロラド州には、4,000mを超えるピークが54座もあり、14,000フィート(約4,200m)を超えることからフォーティナースと呼ばれています。今回はその中でも最高峰であるMtエルバート(4,398m)の登頂を目指します。



▲ゴールデンカラーに染まるマルーンベル山麓



▲一步一步、コロラド最高峰を目指す

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 北米経由都市 着/発 デンバー 着/発 コロラド・スプリングス 着	夕刻、東京発→北米経由都市で乗り継ぎ、→デンバーへ。着後、専用車でコロラド・スプリングスへ。 【コロラド・スプリングス泊】
2	コロラド・スプリングス 発 パイクスピーク ブリッケンリッジ 着	専用車でパイクスピーク・シーニック・ハイウェイへ。COGトレインまたは専用車でパイクスピーク山頂へ。その後、ガーデン・オブ・ザ・ゴッズを訪れ、マントワー・スプリングスで昼食。ブリッケンリッジへ。 【ブリッケンリッジ泊】
3	ブリッケンリッジ 発 ボレアス峠 ハイキング スノーマス 着	▲アスピンの黄葉が美しいボレアス峠の周遊コースを歩き、キーストーンへ(徒歩約3時間)。その後スノーマスへ(3時間)。 【スノーマス泊】
4	スノーマス 滞在 マルーンベル山麓 ハイキング	終日、スノーマス滞在。▲Mt.マルーンベル(4,314m)山麓の湖周辺でのハイキングを楽しみます(徒歩約3時間)。午後は美しい山岳リゾートアспен・スノーマスでフリータイム。 【スノーマス泊】
5	スノーマス 滞在 コロラド最高峰 Mt.エルバート登頂	朝、専用車で登山口(3,119m)へ(約1時間)。▲美しいアスピンの森を抜けると徐々に登りが始まります。眼下にツイン・レイクスを見下ろしながら高山植物の斜面を抜けると、やがて正面にどっしりとした頂上が見えてきます。さらに高度を上げ、最後に南側斜面を回り込むと、コロラド州最高峰Mtエルバート山(4,398m)の頂上です。360度の展望を楽しんだ後、往路を戻り、登山口へ(約8時間)。その後、専用車でホテルへ戻ります(約1時間)。 【スノーマス泊】
6	スノーマス 発 トレイルリッジ ロード エステスパーク 着	美しい自然景観の広がるロッキーマウンテン国立公園を貫くトレイルリッジ・ロードを通り、エステスパークへ(約4時間)。道中、エルクやビッグホーンシープなどの野生動物に出会えるチャンスも。 【エステスパーク泊】
7	エステスパーク 発 ロッキーマウンテン 国立公園ハイキング デンバー 着	午前、▲ロッキーマウンテン国立公園でのハイキングを楽しみます。アスピンの美しい森を抜け、エメラルドレイクへ(徒歩3時間)。午後、専用車でデンバーへ。 【デンバー泊】
8	デンバー 発 北米経由都市着/発	朝、専用車で空港へ。デンバー発→北米経由都市で乗り継ぎ、→東京へ。 【機中泊】
9	東京 着	午後、東京着。

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

スノーマスに3連泊 トレイル・リッジ・ロード

冬季はスキーリゾートとして賑わう可愛い雪囲いの街、スノーマスにゆったり3連泊します。周辺には様々なハイキングコースがあり、毎日場所を変え、趣の異なる景観を楽しめます。

ロッキーマウンテン国立公園を貫く「トレイル・リッジ・ロード」は全米最高所の舗装道路で、「ナショナル・シーニック・バイウェイ」に指定されており、エルクなど野生動物の観察を楽しめます。



▲スノーマス近郊の黄葉の森



▲空へと続くハイウェイ

スイス・オーストリア・ドイツ・イタリアの秋を巡るスペシャルな旅

お申込みはこちら

ヨーロッパ・アルプス 秋の4カ国周遊ハイキング 9日間

スイス東部のアッペンツェル、オーストリア・チロル、ドイツの最高峰、ドロミテのガイスラーアルムとドライチンネン。秋の美しい4カ国を周遊しながら秋色に染まるヨーロッパ・アルプスのハイキングを楽しめます。夏の喧噪が過ぎ、静けさに包まれたアルプスで色彩あふれるハイキングをお楽しみください。

発着地 東京

歩行時間 **宿泊高度** **宿泊施設** **ツアー料** (全ホリ泊)

出発日～帰国日	旅行代金
残6 10/1(水)～10/9(木)	¥862,000

- 燃油サーチャージ (2025年6月1日現在：目安約75,000円) が別途必要です。今後変更になる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
 - ツアーリーダー (添乗員)：東京から東京またはチューリッヒからベネチアまで同行します。
 - 最少催行人数：10人 ● 食事：朝6回、夕5回
 - 一人部屋利用追加料金：¥108,000
 - 利用予定ホテル：Cクラス以上。アッペンツェル/ヘヒトハッチ、エーアヴァルト/ホテルシュールー フネス/ホテルフィネス コルチナ/ホテルヴィラブルー
 - 利用航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、ターキッシュエアラインズ
- ※積雪、残雪の状況によっては、日程表内に記載しているハイキングができな場合があります。その場合は、ツアーリーダーが別のハイキングコースへご案内いたします。
※予定のハイキングコースは天候との条件により変更される場合があります。従ってスケジュール表の【 】内に記載された行動の際の登山電車代、ロープウェイ代などは旅行代金に含まれておりません。(総額の目安は約18,000円)です。

黄葉のヨーロッパアルプスを巡る旅

夏のハイシーズンが終わってスキーシーズンを迎える前のこの時期、ヨーロッパアルプスは静けさを取り戻します。カラマツの黄葉が美しい秋に、スイス、オーストリア、ドイツ、イタリアのヨーロッパ4カ国を巡り、秋色に色づくアルプスをハイキングで楽しむ新企画です。秋は空気が澄み、山岳展望が良いこともポイントです。抜けるような青空のなか、静かな山上湖、天を突く岩峰群、見事に黄葉するカラマツなどのコントラストをお楽しみください。秋のヨーロッパ・アルプスでのハイキングは思い出深いものになることでしょう。



▲ドライチンネン一周ハイキング

アッペンツェル

スイス東部のオーストリア国境に近い場所にあり、昔ながらのスイスの雰囲気を残す村です。電車とゴンドラを乗り継ぎ、さらにハイキングで絶景の広がる山上の湖、ゼーアルプゼーを訪れます。



▲ゼーアルプゼー (湖)

チロル・エーアヴァルト

オーストリアとドイツ国境のチロル地方の山間部にある村で、ドイツ最高峰のツークシュピッツェの麓にあります。ロープウェイで標高1,500mまで上がり山上湖のゼーペンゼーまで往復ハイキング。



▲ドイツ最高峰ツークシュピッツェ山頂

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東経由都市 着	夜、東京発→中東経由都市へ。 ☐☐☐【機中泊】
2	中東経由都市 発 チューリッヒ 着	中東経由都市で乗り継ぎ→チューリッヒへ。 チューリッヒ空港着後、☐☐専用車(または列車で)アッペンツェルへ(約1時間)。☐☐☐【アッペンツェル泊 ☐】
3	アッペンツェル 発 エーアヴァルト 着	朝、☐☐☐電車とゴンドラを乗り継ぎ、エーベンアルプ(1640m)へ。☐☐エーベンアルプから絶壁の下に建つエッシャー小屋を経て山上湖ゼーアルプゼー(1,142m)へハイキング。絶景を楽しんだ後、☐☐ヴァッサラウエン(868m)まで歩きます(5.5km/徒歩約2.5時間)。☐☐☐下山後、☐☐専用車でオーストリアのチロル、エーアヴァルトへ(約3時間)。☐☐☐【エーアヴァルト泊 ☐】
4	エーアヴァルト 滞在	朝、☐☐☐ゴンドラでエーアヴァルダールム(1,500m)へ上がり、☐☐山上湖ゼーペンゼー(1,657m)まで往復ハイキング(往復9.2km/徒歩3.5~4時間)。午後、☐☐☐ゴンドラでドイツ最高峰ツークシュピッツェ(2,962m)へ。☐☐オーストリア側から歩いて国境を越えドイツ側へ。☐☐☐ゴンドラでエーアヴァルトに戻ります。☐☐☐【エーアヴァルト泊 ☐】
5	エーアヴァルト 発 フネス谷 着	☐☐☐専用車でフネス谷のザンスへ(約3時間)。☐☐☐ザンスからガイスラーアルム(1,996m)までハイキング(4.6km/徒歩約2.5時間)。☐☐☐ガイスラーアルムからタクシーでザンスへ。☐☐☐専用車でフネス谷のホテルへ。☐☐☐【フネス谷泊 ☐】
6	フネス谷 発 コルチナ 着	☐☐☐専用車でセルヴァへ。☐☐☐ゴンドラでチャンピノーイ(2,254m)に上がりハイキング開始。☐☐☐サツルンゴを右手に見上げながらセラ峠(2,100m)まで歩きます(4.1km/徒歩約2時間)。☐☐☐専用車でコルチナへ(約1.5時間)。☐☐☐【コルチナ泊 ☐】
7	コルチナ 滞在	☐☐☐専用車でオーロンツォ小屋へ(約45分)。☐☐☐ドライチンネン1周ハイキング(7.4km/約3.5~4時間)。☐☐☐専用車でコルチナへ戻ります。☐☐☐【コルチナ泊 ☐】
8	コルチナ 発 ベネチア 着/発 中東経由都市 着	出発までゆっくりとお過ごしください。午前☐☐☐専用車でベネチア空港へ(約2時間)。午後、ベネチア空港着。夕刻、ベネチア発→中東経由都市へ。☐☐☐【機中泊】
9	中東経由都市 発 東京 着	未明、中東経由都市で乗り継ぎ→東京へ。夕刻、東京着。☐☐☐【機中泊】

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

フネス谷

ドロミテでも屈指の景観を誇るフネス谷ではザンスからガイスラーアルムまでのハイキングを楽しめます。のどかな雰囲気とかわいらしい村、迫力の岩峰群とドロミテの絶景をお楽しみください。



▲黄葉のフネス谷

ドライチンネン

ドロミテの山はごつごつとした岩峰群が林立する姿が特徴的で、迫力満点の風景を楽しめます。ドロミテでも最も知られた「3つの鋭峰」の意味があるドライチンネンの一周ハイキングに出かけます。



▲名峰ドライチンネン

お申込みは
こちら

四輪駆動車で行く 憧れの王都ローマンタン探訪 10日間

かつては片道5日間のトレッキングで訪れた、旧ムスタン王国の都ローマンタンも近年の道路の延伸を受けて、現在は歩かず四輪駆動車でチベットとネパールの交易村でもあったジョムソンから悪路を1日で訪れることができるようになりました。ネパールの中でもムスタンはチベット文化が色濃く残り、ネパールでありながら、チベット文化圏になります。

発着地 東京・大阪

歩行時間 **宿泊高度** **健康診断** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金
10/1(水)～10/10(金)	¥836,000



- 燃料サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約45,600円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- 観光ビザ15日間(実費5,000円+申請料4,400円、2025年6月1日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員):東京・大阪から東京・大阪またはカトマンズからカトマンズまで同行します。
- 最少催行人数:6人 ●食事:朝8回、昼8回、夕7回
- 利用予定ホテル:カトマンズ/ゴカルナ・リゾート、ラディソン、アンナプルナ、エベレスト
- 一人部屋利用追加料金:¥120,000
- 利用予定航空会社:シンガポール航空、大韓航空、キャセイパシフィック航空、マレーシア航空、タイ航空

※トレッキング:現地ガイドが同行。コックは同行しません。
※行動範囲:2,713m～3,950m、最高宿泊地:3,760m、高山病の影響あり。

※ポカラ～ジョムソン間の路線は、山岳飛行便となります。天候条件や機材その他の現地事情により予定通りに飛べない場合があります。フライトがキャンセルになった場合には、小型車(分乗になります)やバス(場合によっては一部徒歩)による陸路移動に変更させていただきます。車両は現地事情により地元住民と混載となる場合があります。また、陸路移動に変更になったことによる差額はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

かつての「禁断の国」ムスタンへ

ヒマラヤを越えチベットへ少し突き出したようなかたちで位置するムスタンはかつては独立した小王国でした。2008年までネパール政府により高度な自治権を与えられ外の世界との交流が限られており、そのことから、ある意味「チベットよりもチベットらしい」文化が保持されてきました。現代にいたっても、独自に保持されてきたチベット文化が受け継がれていることを垣間見ることができるはずです。

ダウラギリを間近に望む 驚異の地形ムスタン地溝帯

チベット交易で栄えたジョムソン街道の要所、ジョムソンでは快適なホテルに宿泊しダウラギリI峰(8,167m)やニルギリ、ティリツォピークを間近に望みティニ村へのハイキングを楽しみます。

ムスタンへはヒマラヤを割った標高差5,000mものムスタン地溝帯に沿って進みます。太古の河川堆積物が浸食風化されてきた広大な驚異の地形で、チベット高原の成り立ちを垣間見る思いです。



▲ティニ周辺からダウラギリI峰を望む



▲ムスタンの広大な浸食地形

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京・大阪 発 アジア経由都市着/発 カトマンズ 着	午前、東京・大阪発→アジア経由都市で乗り継ぎ、深夜、ネパールの首都カトマンズ(1,300m)着。 ☑機機【カトマンズ泊 H】
2	カトマンズ 発 ポカラ 着 ポカラ市内観光	午前、→空路、アンナプルナ山群を一望にする湖畔の街ポカラ(800m)へ(約40分)。午後、ポカラ市内観光。 ☑朝☑夕【ポカラ泊 H】
3	ポカラ 発 ジョムソン 着 ティニ村 ハイキング	早朝→山岳飛行定期便にてジョムソン(2,713m)へ(約20分)。★着後、ティニ村(2,900m)へハイキング。ダウラギリI峰(8,167m)とニルギリ北峰(7,061m)、ティリツォピーク(7,134m)を間近に仰ぎます(徒歩約3時間)。 ☑朝☑夕【ジョムソン泊 H】
4	ジョムソン 発 ローマンタン 着	朝、☑四輪駆動車に分乗して、一路、悪路を北上し、旧ムスタン王国の王都ローマンタン(3,760m)へ(約7時間)。 ☑朝☑夕【ローマンタン泊 L】
5	ローマンタン 滞在 チョサル ローマンタン観光	午前、☑四輪駆動車でさらに北上し、アッパームスタンのチョサル(3,900m)を往復します。 午後、ローマンタンの城郭内の散策や僧院訪問などをお楽しみください。 ☑朝☑夕【ローマンタン泊 L】
6	ローマンタン 発 ジョムソン 着	朝、☑四輪駆動車で往路をジョムソンへと戻ります(約7時間)。 ☑朝☑夕【ジョムソン泊 H】
7	ジョムソン 発 ポカラ 着	朝→山岳飛行定期便にてポカラへ(20分)。午後、湖畔の街ポカラでゆっくりお過ごしください。※ジョムソン→ポカラ間のフライトが飛ばない場合は、陸路、悪路をポカラへ(約8時間)。 ☑朝☑夕【ポカラ泊 H】
8	ポカラ 発 カトマンズ 着 カトマンズ市内観光	午前→国内線でカトマンズへ(約30分)。 午後、カトマンズ半日市内観光をお楽しみください。夕食はカトマンズ・ナイトをお楽しみください。 ☑朝☑夕【カトマンズ泊 H】
9	パクタール 市内観光 カトマンズ 発	午前、ホテルでゆったりお過ごしください。またはオプションツアーでヒマラヤ遊覧飛行をお楽しみください。午後、パクタール市内観光。ネパール郷土料理の夕食後、夜、カトマンズ空港へ。深夜→カトマンズ発、アジア経由都市へ。 ☑朝☑機【機中泊】
10	アジア経由都市着/発 東京・大阪 着	朝、アジア経由都市着→乗り継いで東京・大阪へ。 午後、東京・大阪着。 ☑機☑日☑

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

遥かなりローマンタン チベット高原の一角へ

荒野の中に城郭で囲まれた王都ローマンタンが忽然と現れます。時が止まったような白亜の家と石畳が、古のチベット交易を彷彿させ、チベット本土では珍しかった光景がここにはあります。

侵食地形に洞窟住居跡が点在するアッパームスタンのチョサル(3,900m)がネパール最後の村です。さらに北上すると、一気に高度を上げ標高4,500m以上のチベット高原の台地となります。



▲ローマンタンの石畳の路地



▲チョサルの洞窟住居跡

“進化論”の島、ガラパゴス島と巨石像モアイの島イースター島を一度に訪れる贅沢な旅

お申込みはこちら



ガラパゴス諸島と謎のイースター島探訪 13日間

通常ではなかなか訪れることのない太平洋の孤島ガラパゴス諸島とイースター島を一度に訪れ、各島に3連泊する贅沢な旅です。エクアドルの沖約1,000kmに浮かぶガラパゴス諸島は生物のほとんどが固有種で島を訪れたダーウィンの『種の起源』により世界中から注目を集めることになりました。また、チリの沖合い約3,800kmに浮かぶイースター島は古代部族が残した巨石像モアイで知られています。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホリデー)

出発日～帰国日	旅行代金
10/7(火)～10/19(日)	¥1,958,000



- 燃油サーチャージ (2025年6月1日現在目安23,200円) が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー (添乗員): 東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数: 8人 ● 食事: 朝8回、昼8回・夕8回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。キト/ホリデー イン キト/エアポート、ラディソンロイヤル キト、サンタクルス島/シルバースティン、イースター島/タハタイ
- 一人部屋利用追加料金: **248,000円**
- 利用予定航空会社: アエロメヒコ航空、全日空



▲アフ・トンガリキのモアイ像

ガラパゴス諸島の動物たち 最高点マウンガ・テレヴァカ登山

ガラパゴス諸島はチャールズ・ダーウィンの『種の起源』により世界中から注目を集めることになりました。ガラパゴスのゾウガメ、イグアナ、アシカなどほとんどが固有種です。皆様もぜひ、想像を絶する固有種の楽園ガラパゴスを経験しましょう。

イースター島の最高点マウンガ・テレヴァカ (507m) に登ります。アフアキビ (140m) から登山開始。視界の開けた草原帯を緩やかに登って1.5～2時間で山頂到着。山頂からの大パノラマはまさに太平洋に浮かぶ絶海にいることを実感できます。



▲固有種のガラパゴスゾウガメ



▲テレヴァカ山頂と南太平洋の大海原

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 (成田) 発 メキシコシティ 着/発 ボゴタ 着/発 キト 着	午前、アエロメヒコ航空にて東京 (成田) 発→日付変更線を越え、メキシコシティへ。→乗り継いでコロンビア・ボゴタ経由キトへ。夜、エクアドルの首都キト (2,850m) 着。ユネスコ世界遺産で、世界で2番目の高さにある首都です。 【キト泊】
2	キト 発 バルトラ島 着/発 サンタクルス島 着	午前、→国内線で世界遺産ガラパゴス諸島の玄関口、バルトラ島へ。→船でサンタクルス島へ移動します。着後、 専用車でダーウィン研究所へ。ゾウガメやリクイグアナの飼育所などを見学します。 【サンタクルス島泊】
3・4	ガラパゴス 滞在 ガラパゴス・クルーズ	《ガラパゴス滞在中、下記のいずれかの島々をクルーズで訪れます。》 ● パーソロミュー (バルトロメ) 島【溶岩が流れ出た跡や噴火口があり、月面のような島です。軽ハイキングやビーチでのシュノーケリングも楽しめます。】 ● ノース・セイモア (セイモウル・ノルテ) 島【海底溶岩層の隆起によって形成され、グンカンドリとアオアシカツオドリの営巣地があります。】 ● サウスプラザ (プラザ・スール) 島【溶岩上にセスピウムとウチワサボテンが自生する島で、諸島で最小のリクイグアナの観察ができます。】 【サンタクルス島泊】
5	サンタクルス島 発 バルトラ島 着/発 キト 着	→船でバルトラ島へ。 →国内線でキトへ。着後、 専用車でホテルへ。 【キト泊】
6	キト 発 ボゴタ 着/発	午前、キト半日市内観光を楽しみます。赤道を越える赤道記念碑などを訪れます。午後、アビアンカ航空にて→コロンビアのボゴタへ。→乗り換えてチリの首都サンチャゴへ。 【機中泊】
7	サンチャゴ 着/発 イースター島 着	朝、サンチャゴ着。→国内線に乗り換えてイースター島へ。着後、 専用車で○アキビ：海を見つめる7体のモアイが立つ、○アナパウ：モアイの帽子プカオの石切場、アナパウ洞窟や博物館へご案内します。お天気が良ければ夕陽鑑賞。 【イースター島泊】
8	イースター島 滞在 モアイの道ハイキング	朝、 専用車で島の南海岸を走り、世界遺産ラパ・ヌイ国立公園内の倒されたモアイ像のあるアフ・アカハンガを経てハイキングの出発点へ。ここから、ラノ・ララクへハイキング。製作途中や運搬中のまま、斜面に残されたモアイ像を見ながら歩きます (徒歩約3時間)。午後、アフ・トンガリキに建つ15体のモアイ像に立ち寄りませう。 【イースター島泊】
9	イースター島 滞在 最高峰マウンガ・テレヴァカ登山	朝、 専用車で島の西部にあるアフ・アキビ (140m) へ。→視界の開けた草原帯を緩やかに登り、最高点マウンガ・テレヴァカ (507m) へ。その後、ヴァイテア (150m) へ下山します (徒歩約3時間)。 専用車で世界遺産ラパ・ヌイ国立公園内の島北部にあるヤシの木と白い砂浜が美しいアナケナ・ビーチへ。 【イースター島泊】
10	イースター島 発 サンチャゴ 着	午前、○オロンゴ岬：奇妙な鳥人儀式の行なわれた、○ラノ・カオ：死火山、○ビナブ：インカ文明に似た石組にご案内します。午後、→国内線にてサンチャゴへ。夜、サンチャゴ着。着後、空港にて乗り継ぎ便の出発を待ちます。 【機中泊】
11	サンチャゴ 発 メキシコシティ 着	未明にサンチャゴ発、アビアンカ航空にて→ボゴタ経由メキシコシティへ。着後、メキシコシティ歴史地区観光後、出発までホテルにて休憩。夕食後、空港へ。 【機中泊】
12	メキシコシティ 発	深夜、→アエロメヒコ航空にて帰国の途へ。 【機中泊】
13	東京 (成田) 着	→朝、東京 (成田) 着。

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

ジョージアの世界遺産、上スワネチ地方で、主峰と怪峰を仰ぐ山村にそれぞれ連泊

お申込みはこちら

コーカサス山脈・展望ハイキングと世界遺産スワネチ地方を訪ねる旅 12日間

ジョージア・コーカサスの核心部で、世界遺産のスワネチ地方に聳える国の最高峰シハラと怪峰ウシュバ。これらジョージアを代表する2大名峰を仰ぐ山村にそれぞれ連泊して、展望ハイキングを満喫します。世界遺産の教会、ワインの発祥の地といわれるジョージアのワイナリーにもご案内する盛りだくさんの内容です。秋は晴天率が高く、また見事な紅葉も見ることができます。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
10/8(水)～10/19(日)	¥746,000

- 燃料サーチャージ(2025年6月1日現在約75,000円)が別途必要ですが、今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数:7人 ●食事:朝9回、昼8回、夕9回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。トビリシ/ヒルトンガーデン・イン クタイシ/クタイシ・イン メスティア/サンタワー
- 一人部屋追加料金: ¥96,000 (マゼリ、ウシュグリ)のロッジ泊を除く
- 利用予定航空会社: カタール航空、ターキッシュエアラインズ、ポーランド航空

※バスタブは現地慣習により一般的ではありません。一部のホテルの浴室設備はシャワーのみとなる場合があります。
 ※ウシュグリ及びマゼリのロッジは、部屋数が限られており、大きさ、設備に差異があるため、ご参加の方全員が同じ設備、大きさの部屋をご利用できない場合があります。また、一人部屋の手配はできません。シャワーなどの設備も利用できない場合があります。

“迫力の氷雪群”コーカサス山脈の核心部でゆったり5泊

ジョージア(旧グルジア)北西部、コーカサスの核心部で世界遺産の上スワネチ地方に聳えるジョージア最高峰シハラ(5,068m)や怪峰ウシュバ(4,710m)や氷雪を抱いたテトヌルド。これらジョージアを代表する山群でハイキングを楽しむコーカサス山脈のハイライトコースです。ジョージア最高峰シハラを仰ぎ見るウシュグリ村のロッジに連泊して、広い谷をシハラ峰を眺めながら歩きます。最後に訪れるマゼリ村では、おしゃれなレストランを併設し、怪峰ウシュバを仰ぎ見るロッジに連泊して、展望ハイキングを楽しみます。世界遺産の教会や修道院、日本の和食と同様に世界遺産に指定されたジョージアのワインなども魅力です。

欧州最高所のウシュグリ村

ヨーロッパ最高所の定住村で知られるウシュグリからは、最高峰シハラが眼前に迫ります。また秋の時期は周辺は黄葉に覆われ、素晴らしい展望が広がります。



▲ウシュグリ村から展望するジョージア最高峰シハラ(5,068m)

怪峰ウシュバ峰を望むロッジに滞在

マゼリ村ではおしゃれなレストランが併設され、怪峰ウシュバを仰ぎ見るロッジに連泊します。地元でとれる野菜やチーズなどの食事も楽しみです。



▲怪峰ウシュバ(4,710m)を望みながらハイキング



▲ウシュバ峰(4,710m)の目の前に建つロッジ



▲ジョージアはワイン発祥の地と言われる

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	午後、東京発→中東または欧州内乗り継ぎ都市へ。 ☐☐機【機中泊】
2	中東または 欧州經由都市 着/発 トビリシ 着	早朝、中東または欧州内乗り継ぎ都市着→乗り継いでジョージア共和国の首都で、マルコポーロが「絵に描いたように美しい」と讃えたトビリシ着。 ☐☐機☒【トビリシ泊 ☒】
3	2つの世界遺産群 トビリシ 発 クタイシ 着	☒専用車で古都ムツヘタへ。世界遺産のスヴェティツボヴェリ教会を見学。丘の上には世界遺産のジュヴァリ教会が望まれます。その後、かつてはシルクロードのひとつであった、国を東西に走る街道を西へ。かつての首都でジョージア第2の都市クタイシへ。途中、ワイン発祥の地と言われるジョージアのワイナリーを見学します。 ☒☒☒☒【クタイシ泊 ☒】
4	2つの世界遺産群 クタイシ 発 世界遺産の スワネチ地方 マゼリ 着	午前、世界遺産ゲラティ修道院と世界遺産のバグラチ大聖堂を訪問。☒ズグディディへ。☒四輪駆動車に乗り換え、エングリ峡谷をコーカサス核心部の仙境で世界遺産の上スワネチ地方へ。コーカサス随一の怪峰ウシュバ(4,710m)を仰ぎながら、コーカサス随一の怪峰ウシュバ(4,710m)を仰ぐ山深いマゼリ村(1,600m)へ。 ☒☒☒☒【マゼリ泊 ☒】
5	マゼリ 滞在 怪峰ウシュバ 展望ハイキング	マゼリ滞在。★怪峰ウシュバを至近距離から仰ぎ見るグリ谷の絶景地(標高約2,400m)あたりまでハイキングを楽しみます(徒歩約4時間)。ウシュバは北峰と南峰の2つのピークを望むことができます。 ☒☒☒☒【マゼリ泊 ☒】
6	マゼリ 発 欧州最高所定住村 ウシュグリ 着	☒四輪駆動車で、ウシュバ峰などを眺めながら峠を越え、ヨーロッパ最高所の定住村と称され、石の塔が立ち並ぶウシュグリ村(2,200m)へ。ウシュグリ村からは、正面にジョージア最高峰シハラ(5,068m)の氷壁がそびえます。 ☒☒☒☒【ウシュグリ泊 ☒】
7	ウシュグリ 滞在 最高峰シハラ ハイキング	★ジョージア最高峰のシハラ峰(5,068m)の氷壁に向かって、広い谷のハイキングを楽しみます。シハラ峰の岩山が間近に迫ります(徒歩約4時間)。 ☒☒☒☒【ウシュグリ泊 ☒】
8	ウシュグリ メスティア 発 メスティア村散策	☒四輪駆動車で、上スワネチ地方の中心メスティア村(1,420m)へ。石の塔が立ち並ぶ村からは、テトヌルド峰などが望まれます。午後はメスティア村を散策します。 ☒☒☒☒【メスティア泊 ☒】
9	メスティア クタイシ 発 クタイシ 発	☒専用車で、スワネチ地方を後にして、クタイシへ。 ☒☒☒☒【クタイシ泊 ☒】
10	クタイシ 発 聖地カツヒの塔 トビリシ 着	午前、1000年以上前に礼拝堂が建てられ、いまだに謎に包まれた、1本の岩柱の上になつた聖地カツヒの塔へ。その後、トビリシへ。 ☒☒☒☒【トビリシ泊 ☒】
11	トビリシ市内観光 トビリシ 発	午前、トビリシ観光。ペルシャの影響を受けた、ペランダ付きの木造の伝統家屋が並ぶ旧市街、グルジア正教の総本山シオニ教会、ゴーリキも幽閉された監獄でもあったメテヒ教会などをご案内します。午後、トビリシ発→中東または欧州内乗り継ぎ都市へ。 ☒☐機【機中泊】
12	中東または 欧州經由都市 着/発 東京 着	未明、→中東または欧州内乗り継ぎ都市で乗り継ぎ、東京へ。夕刻、東京着。 ☒☒☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

神々の住む島バリ島の伝統、文化、大自然の島とバトゥール山登山

お申込みは
こちら

バリ島の秀峰バトゥール山登頂と ペニダ島 6日間

バリ島の沖合に浮かぶまだまだ人の手が入っていない大自然が残るペニダ島で絶景のスポットを散策。バリ島では美しい棚田や先住民の村をハイキングで訪れ、世界遺産バトゥール湖の雄大な景色が広がるバトゥール山に日帰りです。伝統舞踊やヒンドゥー教寺院の見学など、登山に加えてバリ島の伝統と文化を楽しむ旅です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホテル)

出発日～帰国日	旅行代金
残6 10/13(月)～10/18(土)	¥416,000

- 燃油サーチャージは(2025年6月1日現在:目安約42,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内します。
- e-VOA(電子到着ビザ、実費4,300円+申請料4,400円、2025年6月1日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- バリ島観光税(入島税:1,300円)が別途かかります。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはデンパサールからデンパサールまで同行します。
- 最少催行人数:10人 ● 食事:朝4回、昼4回、夕5回
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。サヌール/サヌールリゾートプライム ウブド/アルマリゾートユリウブド、ウブドビレッジ
- 一人部屋追加料金:¥42,000
- 利用予定航空会社:ガルーダインドネシア航空

神々の住む島バリ島とバトゥール山

イスラム教の影響が強いインドネシアにありながら、ヒンドゥー教が強く根付いているバリ島。常にどこかで祭りが行われるほどに、人々のヒンドゥー教への信仰は厚く儀式を重んじています。そんなバリ島でバリヒンドゥー教の総本山ブサキ寺院を観光したり、伝統舞踊のレゴンダンスやケチャックダンスの見学、典型的な田園風景が楽しめる美しい棚田と先住民の村を巡るハイキングに出かけたり、世界遺産のバトゥール湖を見下ろすバトゥール山に登ったりとバリ島の伝統、文化、自然を一杯楽しむ企画です。リゾートホテルに2泊ずつのんびりと連泊します。



▲雄大な景観が広がるバトゥール山

手つかずの大自然ペニダ島

バリ島の南東部に浮かび、スピードボートで1時間もあれば到着する場所にある島。観光地としてあまり開発されていない事から大自然が手つかずのまま残り、絶景を巡る散策が楽しめます。



▲ペニダ島のクリンキンビーチ

伝統の村と棚田ハイキング

バリ島の東部にあり、今だに独特の風習を大切に残すトゥガナン村をハイキングで訪れます。人の手によって守られてきた美しい棚田の中を歩くとバリ島伝統の人々の暮らしや植物を楽しめます。



▲美しい棚田の中をハイキング

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 デンパサール 着/発 サヌール 着	午前、東京発 → デンパサールへ。 着後 サヌールへ。 【サヌール泊 】
2	サヌール 発 ペニダ島 着 ペニダ島 発 サヌール 着	朝 サヌール港へ。 スピードボートでペニダ島へ。 クリンキンビーチ、ブロークンビーチ、エンジェルピラポーンなどの絶景を散策や観光などで楽しめます。午後、ペニダ島から スピードボートでサヌール港へ。 でホテルへ戻ります。 【サヌール泊 】
3	サヌール 発 カスターラ村 着/発 トゥガナン村 着 トゥガナン村 発 ウブド 着	朝、 で東部カスターラ村へ。 カスターラ村からトゥガナン村までのハイキングに出発します。人の手で大切に守られてきた美しい棚田の中の道を歩き、森を抜けて伝統的な独特の風習を残すトゥガナン村までのハイキングです。道の途中では、典型的なバリの田園風景とそこに暮らす人々の素朴な生活を垣間見ることができるでしょう。 トゥガナン村はバリ島の先住民「バリ・アガ」の住む村で今も昔からの伝統を大切に暮らしています。 でバリヒンズー教総本山のブサキ寺院へ。 ブサキ寺院観光 。 ウブドへ。 【ウブド泊 】
4	ウブド 発 トヤブンカ 着/発 トヤブンカ 着/発 トヤブンカ温泉 着/発 ウブド 着	朝、 で出発。途中で登山ガイドと合流。小型車に乗り換え、登山口となるトヤブンカの駐車場(約1,000m)へ。 登山ガイド、日本語ガイドと共に登山を開始します。バトゥール湖を眼下にバトゥール山(1,717m)を登頂します。山頂からはバトゥール湖とアバン山越しに見えるバリ島最高峰アグン山の景色を楽しめます。往路を下山します(徒歩約4時間)。 ウブドへ戻ります。夕食後 ウブド王宮へ。 ウブド王宮にてレゴンダンスを鑑賞 します。 でホテルへ。 【ウブド泊 】
5	ウブド 発 サヌール 着/発 サヌール 着/発 デンパサール 着	午前、 で出発。 ウブドの渓谷に挟まれた尾根にある散歩道、 チャンプアンリッジウォーク を歩きます。 でバリ島の南部へ。サヌールにて昼食を食べた後、バリ島最南端にある ウルワツ寺院観光 。ウルワツ寺院にて ケチャックダンスを鑑賞 (自由席)します。ジンパランビーチにてシーフードバーベキューの夕食。その後 デンパサール空港へ。 【機中泊】
6	デンパサール 発 東京 着	→ デンパサール空港発、東京へ。 午前、東京着。

*航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

バトゥール山とバトゥール湖

バトゥール山は標高1,717mの火山で往復約4時間の登山で絶景が楽しめる人気の山です。眼下に世界遺産のバトゥール湖が望め、湖の向こうにはバリ島最高峰のアグン山も望める展望の山です。



▲雄大なカルデラの中のバトゥール湖

伝統舞踊と伝統文化

ウブド王朝の宮殿、ガムラン音楽、伝統のバリ舞踊、パティックや蔓植物で作ったアタ製品など、元々バリ島にあった伝統に西洋文化が加わり、独自の発展を遂げたバリ島の文化を堪能します。



▲バリ島の伝統舞踊も堪能する

韓国的高峰2座を効率よく登る韓国の山旅・決定版コースです

韓国的高峰2座登頂 漢拏山と智異山 5日間

お申込みは
こちら

韓国を代表する2座を効率よく一度に登るコースです。山旅の前半は、広大な山域をもち、奥深い登山を楽しむことのできる智異山を山小屋泊まりの1泊2日の行程で登ります。山旅の後半は、空路で済州島へ移動し、韓国最高峰・漢拏山を登ります。その土地ならではの食も楽しむ韓国の山旅・決定版です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
10/21(火)～10/25(土)	¥268,000

●燃油サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約9,000円)が別途必要です。今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京または釜山から釜山まで同行します。
- 最少催行人数:10人 ●食事:朝4回、昼3回、夕4回
- 利用予定ホテル:Bクラス以上。晋州/アジア、レイクサイド、ドンバン、ゴールデン、ブラウンドット、ラオン、ニューグランド 済州/パレス、パシフィック、オリエンタル、ニュークラウン、ザホテル、シリウス、ハーバー
- 一人部屋利用追加料金:¥36,000(山小屋泊を除く)
- 利用予定航空会社:大韓航空、アジアナ航空

※山小屋での宿泊の際は、山小屋に備え付けの毛布を利用するため、寝袋(シュラフ)を日本から持参する必要はありません。



▲漢拏山の荒々しい岩壁を望む



▲智異山最高峰・天王峰(チョンワンボン)1,915m

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 釜山(金海) 着/発 晋州(チンジュ) 着	昼、東京発→韓国の釜山(金海)へ。午後、専用車で李朝時代の面影を残す晋州(チンジュ)へ(約2時間)。夕食は、晋州名物のうなぎ料理と冷麺をご賞味ください。 【晋州泊】
2	晋州(チンジュ) 発 内大理(ネデリ)着/発 智異山登山1日目 智異山・山小屋 着	朝、専用車で智異山の内大理(ネデリ)登山口(620m)へ(約1.5時間)。登山開始。樹林帯から智異山主稜線の上に建つ細石(センク)山荘(1,560m)または場基項(チャントモク)山荘(1,750m)へ(徒歩約4~6時間)。 【智異山・山小屋泊】
3	智異山・山小屋 発 智異山登山2日目 天王峰登頂 中山里(チュンサンリ)着/発 釜山(金海) 着/発 済州(チェジュ) 着	早朝、智異山最高峰・天王峰(チョンワンボン/1,915m)に登頂。その後、法界寺(ポッケサ)、ロータリ山荘を経て、中山里(チュンサンリ)登山口(600m)へ下山(徒歩約5~7時間)。下山後、専用車で釜山(金海)空港へ(約2.5時間)。夕刻、釜山(金海)発→国内線で済州(チェジュ)へ。夜、専用車で済州市内のホテルへ(約30分)。夕食は、済州島名物の黒豚の焼肉をご賞味ください。 【済州泊】
4	済州(チェジュ)滞在 韓国最高峰 漢拏山登頂	早朝、専用車で世界遺産・漢拏山の城板岳(ソンプナク)登山口(750m)へ(約40分)。登山開始。チンダルレバ小屋を経て、韓国最高峰・漢拏山(ハルラサン)の東稜頂上(1,935m)へ。山頂からは変化に富んだ観音寺コースを下山。耽羅(タンラ)溪谷に沿って下り、観音寺(カヌンサ)登山口(580m)へ(徒歩約9~10時間)。下山後、専用車でホテルへ(約40分)。夕食は、新鮮な刺身料理と海鮮鍋をご賞味ください。 【済州泊】
5	済州市内観光 済州(チェジュ) 発 釜山(金海) 着/発 東京 着	午前、専用車で済州市内観光へ(約2.5時間)。三姓穴、済州民俗自然史博物館、東門在来市場を見学。その後、専用車で空港へ。昼、済州(チェジュ)発→釜山(金海)またはソウルで乗り継いで→東京へ。夕刻、東京着。

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

紅葉のベストシーズンに屈指の山岳美を誇る雪岳山と岩峰群が特徴的な北漢山へ

韓国の名峰・雪岳山登頂と北漢山ハイキング 5日間

お申込みは
こちら

紅葉の最盛期に雪岳山(ソラクサン)を訪れます。頂上直下の山小屋に宿泊する1泊2日の行程で登り、屈指の山岳美を誇る雪岳山の美しい景観を満喫します。旅の後半は、ソウルに2連泊して、花崗岩の岩峰が連なる北漢山(ブッカサン)へご案内します。美味しい韓国料理や温泉入浴もお楽しみいただけます。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
10/12(日)～10/16(木)	¥258,000

- 燃油サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約9,000円)が別途必要です。今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはソウルからソウルまで同行します。
- 最少催行人数:10人 ●食事:朝4回、昼3回、夕4回
- 利用予定ホテル:Bクラス以上。東草/シークルーズ、マリナー、ケンジントン、チェスター、マレモンズ、アイパーク、コンフィネス、ブルーテラ、チョンパイン、パンパス、ヘヴン、ラマダソウル/ホームズステイ、東横イン、ソラゴ、ゴールデン、ガーデン、フェアフィールド、新羅、国際、プリンス、オラカイ、クラウン、東ソウル、世宗
- 一人部屋利用追加料金:¥44,000(山小屋泊を除く)
- 利用予定航空会社:大韓航空、アジアナ航空

※山小屋での宿泊の際は、山小屋に備え付けの毛布を利用するため、寝袋(シュラフ)を日本から持参する必要はありません。

※このページに掲載の韓国2コースはツアーリーダーは同行しませんが、5名様から現地日本語ガイドの案内で実施いたします。

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 ソウル 着/発 東草(ソクチョ) 着	午前、東京発→韓国のソウルへ。午後、専用車で海辺の港町・東草(ソクチョ)へ(約4時間)。夕食は、新鮮なお刺身や海鮮鍋をご賞味ください。 【東草泊】
2	東草(ソクチョ) 発 五色 着/発 雪岳山登山1日目 大青峰登頂 雪岳山・山小屋 着	朝、専用車で五色登山口へ。五色登山口から登山開始。樹林帯の中によく整備された道を雪岳山山頂(1,708m)へ。雪岳山山頂からはチュンチョン避難小屋、小青峰を経由して喜雲閣(ヒュンガク)山荘まで下山します(徒歩約8時間)。山荘にチェックインの後、夕食。 【雪岳山・山小屋泊】
3	雪岳山・山小屋 発 雪岳山登山2日目 雪岳洞(ソラクドン)着/発 ソウル 着	花崗岩の山に囲まれ、この時季紅葉の美しい天仏洞(チョンブルドン)溪谷の景観を楽しみながら、雪岳洞(ソラクドン/200m)へ下山(徒歩約4時間)。下山後、専用車で山麓の尺山(チョクサン)温泉に立ち寄り、ソウルへ(約2時間)。夕食は、豚肉の焼肉や冷麺をご賞味ください。 【ソウル泊】
4	ソウル 滞在 北漢山ハイキング 白雲台登頂	早朝、専用車でソウル山登山口(140m)へ。ハイキング開始。霊峰(ヨンボン)をへて、巨大な花崗岩の岩峰、仁寿峰(インスボン)を眺めながら、白雲(ベグン)山荘へ。白雲台(ベグンデ/837m)往復後、道洗寺(トソンサ)登山口(280m)へ下山(徒歩約5時間)。下山後、専用車で牛耳洞(ウイドン)へ。温泉(ゲルマニウム温泉)に立ち寄り、ホテルへ(約1時間)。夕食は、サムゲタン(参鶏湯)をご賞味ください。 【ソウル泊】
5	ソウル 発 東京 着	朝、専用車でソウル空港へ(約1.5時間)。午前、ソウル発→午前、東京着。

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

お申込みは
こちら



ウズベキスタンの4つの世界遺産と タジキスタンの大自然周遊スペシャル 12日間

古くはマルコポーロ、玄奘三蔵、チンギスハンやティムールなどさまざまな人が行き交い歴史の舞台となってきた中央アジア。昔と変わらぬ街並みが今に残っています。ウズベキスタンにある4つの世界遺産の古都、ヒヴァ、ブハラ、シャフリサブス、サマルカンドの歴史地区をのんびり歩いて巡り、かつ、国境を越え世界遺産に登録されたばかりのタジキスタン・シルクロードの『ザラフシャン-カラクム回廊』を訪問します。

発着地 東京・大阪

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
残6 10/31(金)～11/11(火)	¥628,000

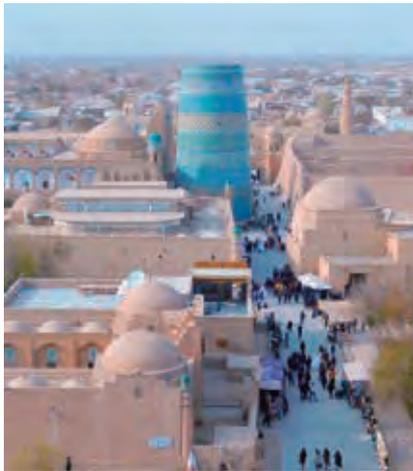
- 燃油サーチャージ (2025年6月1日現在: 目安約39,000円) が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー (添乗員): ソウルからソウルまで同行。
- 最少催行人数: 8人 ● 食事: 朝10回、昼10回、夕9回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。タシケント/インスピラ、グランドプラザ、ウズベキスタン サマルカンド/デ・ヴィラ、マジスティック、リーガル
- 一人部屋利用追加料金: ¥120,000 (タジキスタン・パンジャケントのロッジ1泊を除く)
- 利用予定航空会社: アシアン航空、ウズベキスタン航空



私にご案内します
渡部 秀樹
(わたなべ ひでき)

ウズベキスタンの4つの世界遺産

古来の中央アジア・シルクロードの面影を色濃く残すウズベキスタン。交易の中継地として財を蓄積しオアシス都市に中央アジアのイスラム文化として壮麗な建築物を残しました。今なお中世の雰囲気を色濃く残す城郭都市のヒヴァとブハラ、ティムール帝国ゆかりのシャフリサブスとシルクロードの中心都市“青の都”サマルカンドとウズベキスタンの4つの世界遺産を巡ります。



▲ヒバの内城イチャン・カラは中世の姿

「青の都」サマルカンド 西パミールのザラフシャン・ファン山脈

シルクロードの交差点として栄えた古都サマルカンドは14世紀末にティムール朝のもとで世界のどこにもない美しい都市として甦りました。その美しさは今も往時まま輝き続いています。

ウズベキスタンから国境を越えタジキスタン・シルクロードの新世界遺産『ザラフシャン-カラクム回廊』を進み、ザラフシャン・ファン山脈の神秘的湖群を車とハイキングで訪問します。



▲サマルカンドのレジスタン広場



▲タジキスタンのイスカンドル湖とファン山脈

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京・大阪 発 ソウル 着/発 タシケント 着	東京・大阪発 → ソウル (インチョン) で乗り継ぎ → ウズベキスタンの首都、タシケントへ。 ☐☐☐ 【タシケント泊 H】
2	タシケント 発 ウガム・チャトカル自然保護区 着 ウガム・チャトカル自然保護区 発 タシケント 着	☞専用車で、天山山脈の西側、カズフスタンと国境を接するウガム・チャトカル自然保護区のリゾート、アミルソイへ。ゴンドラで2,290mの山上まで登り、対岸に臨むグレーター・チムガン山 (3,309m) まで360度の大パノラマは圧巻です。後、タシケントへ戻ります。 ☐☐☐ 【タシケント泊 H】
3	タシケント 発 ウルゲンチ 着/発 ヒヴァ 着	朝、☞国内線で空路ウルゲンチへ (所要約2.5時間)。 ☞専用車でホラズム王国の都ヒヴァへ (所要約40分)。 世界遺産ヒヴァ観光。タシュハウリ、ジュマモスク、イスラムホジャメドレセ&ミナレット、クフナルクなど。クフナルクでは「アク・シェイフ・ババ」の高台よりイチャンカラの街並みが一望できます。 ☐☐☐ 【ヒヴァ泊 H】
4	ヒヴァ 発 ブハラ 着	☞専用車で、キジルクム砂漠へ。古代ホラズム王国都城跡アズヤ・カラなどを見学後、ブハラへ (所要約7.5時間)。夕刻、ブハラ着。 ☐☐☐ 【ブハラ泊 H】
5	ブハラ 滞在 ブハラ観光	終日、ブハラ滞在。 ☞世界遺産で、メッカに次ぐ聖地ブハラ観光。カラーンモスクとミナレット、イスマイルサマニ廟、タキ、アルク城など。夕食では民族ショーも楽しめます。 ☐☐☐ 【ブハラ泊 H】
6	ブハラ 発 シャフリサブス 着 世界遺産シャフリサブス観光 シャフリサブス 発 サマルカンド 着	☞専用車で、ティムールの故郷シャフリサブスへ (所要約4時間)。 ☞世界遺産シャフリサブス観光。アクサライ宮殿、ドルティロヴァウト及びビルサオダット建築群など見学。 観光後、☞専用車で、サマルカンドへ (所要約2.5時間)。 ☐☐☐ 【サマルカンド泊 H】
7	サマルカンド 滞在 世界遺産サマルカンド観光	終日、サマルカンド滞在。 世界遺産サマルカンド観光。☞レジスタン広場、ティラカリメドレセ、アミール・ティムール廟、シャーヒズインダ廟、ウルグベク天文台跡、パザールなど見学。 ☐☐☐ 【サマルカンド泊 H】
8	サマルカンド 発 ウズベキスタン・タジキスタン国境越え パンジャケント 着/発 ザラフシャン・ファン山脈 神秘的湖探訪ハイキング パンジャケント 着	☞専用車で、ウズベキスタン・タジキスタン国境へ。 ☞四輪駆動車に乗り換え、タジキスタン・シルクロードの新世界遺産『ザラフシャン-カラクム回廊』を進み、パンジャケントへ。パザールに寄りザラフシャン・ファン山脈の神秘的湖群を車とハイキングで訪問☞車でパンジャケントへ戻ります。 ☐☐☐ 【パンジャケント泊 L】
9	パンジャケント 発 ザラフシャン・ファン山脈 神秘的湖探訪ハイキング サマルカンド 着	☞四輪駆動車でザラフシャン山脈の最高峰チムタルガピーク (5,489m) の山麓を通り標高約2200mのイスカンドル湖へ。☞ウズベキスタン・タジキスタン国境へ。 ☞専用車でサマルカンドへ。 ☐☐☐ 【サマルカンド泊 H】
10	サマルカンド 発 タシケント 着 タシケント観光	サマルカンドより☞車でタシケントへ。 タシケント観光。ウズベキスタン歴史博物館、パザール見学と地下鉄体験乗車など。 ☐☐☐ 【タシケント泊 H】
11	タシケント観光 タシケント 発	タシケント観光。日本人墓地など。夕食後、タシケント発 → 帰国の途へ。 ☐☐☐ 【機中泊】
12	ソウル 着/発 東京・大阪 着	☞ソウル (インチョン) で乗り継ぎ → 東京・大阪へ。 ☐☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

軽ハイキングだけで世界の高峰が密集する絶景の大パノラマに迫る

お申込みは
こちら

錦秋の桃源郷フンザと カラコルム展望ハイキング 10日間

秋のフンザは空高く、高山は新雪を纏い、里はポプラが黄色にアズなど果樹の葉が赤色に染まり、まさに錦秋の桃源郷の世界に変わります。フンザとナガルでは名峰を望みながら軽ハイキングを、パス-氷河周辺で氷河を間近に迫力あるハイキングを楽しめます。ギルギットへの移動はフライトを利用し、陸路だと片道2日かかるのをわずか1時間で移動します。

発着地 東京・大阪

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
10/31(金)～11/9(日)	¥598,000

私がご案内します
松本 伸夫
(まつもと のぶお)

- 燃油サーチャージ (2025年6月1日現在: 目安約52,000円) が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際ご案内いたします。
- 観光ビザ (実費8USドル+申請料4,400円、2025年6月1日現在、手数料・消費税込み) の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー (添乗員): 東京から東京または大阪から大阪まで同行します。
- 最少催行人数: 8人 ● 食事: 朝8回、昼6回、夕6回
- 利用予定ホテル: Cクラス以上。イスラマバード/ヒルビュー、シグネチャ、ルーミーギルギット/セレナ、アヴァリ
- 一人部屋利用追加料金: ¥112,000 (フンザ泊ロッジ含む。その他ロッジ含まない。)
- 利用予定航空会社: タイ航空

名峰を仰ぎみる5つのハイキングコース

フンザ上部のドゥイカルの丘から、ラカポシやディラン、スパンティークなどを望むコース、ラカポシの北面を仰ぎ見るコース、グルキン氷河のアブレーションバレー (氷河側谷) をシスパーレやウルタルを望むコース、真白い氷塔が乱立するパス-氷河を望むコース、フンザの対岸ナガールのホーパル村から、ブアルタル氷河やウルタルなどを望むコースなど、合計すると7,000m峰を11座見ることができます。どのハイキングも1~2時間程度のハイキングですので、のんびりと白銀の山々を展望しながらお楽しみいただけます。



▲グルキン氷河の奥にそびえ立つ鋭鋒シスパーレ (7,611m)

錦秋の桃源郷フンザ 迫力ある氷河と岩峰が迫る

黄葉のポプラと紅葉のアズに新雪のカラコルムの山々が映える秋の桃源郷フンザは世界でも稀な美しい景観が楽しめます。快適なホテルを起点にのんびり滞在できるのは至福の体験です。

カラコルムの山々は車で間近まで迫れることが驚きです。豪快なスケールの山岳地帯にオアシスを築いた村々から、パス-氷河やブアルタル氷河など迫力あるコースをハイキングします。



▲秋のフンザの谷とラカポシ (7,788m)



▲パス-氷河を眼下に歩く

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京・大阪 発 イスラマバード 着	午前、東京・大阪発 → 東南アジア経由地 → 夜、イスラマバード着。 【イスラマバード泊】
2	イスラマバード 発 ギルギット 着/発 フンザ 着	朝、国内線にてギルギットへ。機窓からはナンガパルバットをはじめ、カラコルムの名峰を望むことができます。ギルギット着後、 でフンザへ。午後はフンザにてゆっくりとお過ごしください。フライトキャンセルの場合は、 チラスへ。専用車でカラコルムハイウェイを北上します。 【フンザ泊】
3	フンザ 滞在 ドゥイカルの丘散策 ウルタル展望散策 桃源郷フンザ観光	午前、 フンザ上部にあるドゥイカルの丘へ (2,850m) へ。▲丘からハイキング開始。氷河で作った水路を辿りながら、ラカポシ、ディラン、スパンティークをはじめ、フンザピーク、レディースフィンガー、ウルタルI峰、ウルタルII峰などを望みながら歩きます (徒歩約2時間)。午後は、▲フンザ上部を散策。ウルタル谷の入り口付近まで往復します。圧倒的な迫力でそびえるウルタル峰を仰ぎ見ます (徒歩約1時間)。その後はフンザの村の散策などを楽しみます。 【フンザ泊】
4	フンザ 滞在 ラカポシ展望 ハイキング 桃源郷フンザ観光	午前、 専用車でフンザから、グルメット村へ。▲秀峰ラカポシの高度差、5,700mを仰ぎ見るショートハイキングへ (徒歩約1時間)。ラカポシの北面が圧倒的な迫力で望めます。午後、フンザに戻り、フンザ王国時代の象徴バルチット城の見学やフンザの村の散策などを楽しみます。 【フンザ泊】
5	フンザ 発 グルキンハイキング パス-ハイキング パス- 着	カラコルムハイウェイをさらに奥へ進みグルキン村へ (2,500m) へ。▲グルキン氷河のアブレーションバレー (氷河側谷) を進み、シスパーレ、ウルタルI峰、ウルタルII峰、トポップダンなどを望みながら、グルキン氷河を望む展望地までハイキング (徒歩約1.5時間)。その後、 パス-氷河の入り口付近 (2,600m) まで移動し、▲パス-氷河を眼下に望む展望地をハイキングします (徒歩約1時間)。 パス-へ戻ります。 【パス-泊】
6	パス- 発 ホーパルハイキング ギルギット 着	午前、パス-村からナガールのホーパル村へ。▲ホーパル村 (2,790m) からウルタルやブアルタル氷河、カペルピークなどを望むビューポイントへ (徒歩約1.5時間)。その後、 専用車でギルギットへ。 【ギルギット泊】
7	ギルギット 発 イスラマバード 着	朝、国内線にて、イスラマバードへ。着後は、イスラマバードで登山の疲れをいやしてください。 【イスラマバード泊】
8	イスラマバード 滞在 ガンダーラ遺跡・ タキシラ見学	専用車で世界遺産にも指定されているガンダーラの遺跡群であるタキシラを見学します。 【イスラマバード泊】
9	イスラマバード 発 東南アジア都市経由/発	終日、イスラマバード市内観光を楽しみます。夜、イスラマバード発 → 東南アジア経由地へ。 【機中泊】
10	東京・大阪 着	→ 東南アジア経由地 → 午後、東京・大阪着。

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

※各地からの日本国内線はお問い合わせください。



▲ホーパル村からのウルタルII峰 (7,388m)



▲グルメット付近からのラカポシ (7,788m)

数千年の歴史を刻んだアラビア半島の王国へ

お申込みは
こちら

ヨルダン・トレイルと 最高峰ウナム・アッダーミ登頂 9日間

ヨルダンを南北に縦走するキングスハイウェイ「王の道」沿いに2015年全長650kmのロングトレイルが正式に開通しました。ロッジ泊2泊3日で、世界遺産ペトラ遺跡を目指す壮大かつドラマチックなトレッキングです。ワディラム砂漠の豪華テントキャビンに宿泊、最高峰ウナム・アッダーミ(1,854m)登頂にも挑戦します。悠久の時を経て、遥かなる歴史遺産と民族に触れる旅をお楽しみください。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
11/18(火)～11/26(水)	¥720,000

- 燃油サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約75,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数:10人 ● 食事:朝6回、昼7回、夕6回
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。アンマン/インターコンチネンタル フェイナン/フェイナンエコロッジ ペトラ/ベドウィンキャンプ、ペトラゲストハウス ワディラム/ラムマジック 死海/ホリディン
- 一人部屋利用追加料金:¥98,000(ロッジ泊を含む。ただし、部屋数に限りがあるため、ご希望に添えない場合もございます。)
- 利用予定航空会社:エミレーツ航空、カタール航空



▲フェイナンロッジ



▲ダナ溪谷を行く



▲ペトラ遺跡の中心部へと進むシーク



▲エル・ハズネ

ペトラ遺跡

2000年以上前にこの地に定住したナバテア人が交易や交通の要地として建てた古代都市。エド・ディル(修道院)、エル・ハズネ(宝物殿)、王家の墓は圧巻です。



▲王家の墓へ向かう

ウナム・アッダーミ登頂

最初の30分は足元を確保しながらの段差のある岩場を慎重に登ります。行程は登り2時間・下り1時間半。登山を希望されない方には砂漠の散策へご案内します。



▲最高峰ウナム・アッダーミ(1,854m)山頂へ

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、東京発▶中東經由都市へ。 ☐☐機【機中泊】
2	中東經由都市 着/発 アンマン 着	▶中東經由都市で乗り継いで、世界でも最も古い都市の一つ、ヨルダンの首都アンマン(900m)へ。☞専用車でアンマン市内へ(約1時間)。 ☞アンマン城塞シタデルやローマ円形劇場、市場など半日市内観光へご案内します。 機☑☑【アンマン泊 机】
3	アンマン 発 ダナ 着/発 ヨルダントレイル トレッキング1日目 フェイナン 着	早朝、☞専用車で小さな村ダナ(1,240m)へ(約3.5時間)。 ★ダナ谷を眺めながらヨルダン最大級のダナ自然保護区の山の尾根を進み、フェイナンへ下ります。希少な植物や野生動物を見られるでしょう(徒歩約7時間)。 朝☑☑【フェイナン泊 机】
4	フェイナン 発 ヨルダントレイル トレッキング2日目 リトルペトラ 着	午前、☞専用車でトレイルヘッドへ。 ★新石器時代の遺跡を見ながらリトルペトラ(ミニ版ペトラ遺跡)まで歩き、見学をします(徒歩約4時間)。 朝☑☑【リトルペトラ泊 机】
5	リトルペトラ 発 ヨルダントレイル トレッキング3日目 ペトラ 着	★エド・ディル(修道院)の裏手の山沿いにつけられたトレイルを進み、世界遺産・ペトラ遺跡へ。エド・ディル(修道院)やエル・ハズネ(宝物殿)などを見学しながらワディムサ(1,050m)へ(徒歩約5時間)。 朝☑☑【ペトラ泊 机】
6	ペトラ 発 ワディラム 着/発 ヨルダン最高峰 ウナム・アッダーミ登山 ラクダ乗り	☞専用車で世界遺産ワディラム(790m)へ(約2時間)。 ☞ジープで砂漠を走り抜け登山口(1,420m)へ(約1.5時間)。 ★基部の急勾配の岩場を登り、ヨルダン最高峰ウナム・アッダーミ山(1,854m)に登頂。その後往路を下ります(徒歩約3.5時間)。(登山を希望されない方には砂漠の散策へご案内します)。 夕刻の砂漠にて、 ラクダに乗り 、映画『アラビアのロレンス』の世界に浸ります(約1時間)。 朝☑☑【ワディラム泊 机】
7	ワディラム 発 死海 着 死海リゾート	☞4WDジープツアーにてワディラム渓谷、砂丘や砂漠へご案内します(約2時間)。午後は、☞ヨルダン側の死海(-430m)へ。 浮遊体験や泥パックなどスパ体験 をお楽しみください。 朝☑☑【死海泊 机】
8	死海リゾート 死海 発 アンマン 着/発 中東經由都市 着/発	午前、 浮遊体験やスパ体験などリラックスタイム をお楽しみください。 午後、☞専用車でアンマン空港へ(約1時間)。 夜、アンマン発▶中東經由都市で乗り継ぎ▶東京へ。 朝☑☑機【機中泊】
9	東京 着	夕刻、東京着。 機☑☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

ワディ・ラム砂漠

広大な砂漠に巨大な岩山が連なる圧倒的な景観の中、4WDやラクダに乗って砂漠を探検します。砂漠の民ベドウィン族が運営する快適なテント・キャビンに宿泊します。



▲幻想的なワディラムの夕暮れ

死海リゾート

イスラエルとヨルダンに面する塩湖の海拔マイナス430mは地表で最も低い場所です。通常の海水塩分濃度は約3%に対し、死海は30%以上の濃度を有します。



▲死海で浮遊体験

ネパール屈指の大人気トレッキングコース

お申込みは
こちら

発表

アンナプルナ山群トレッキングと
8,000m峰展望 9日間

コンパクトな日程ながら、ヒマラヤを代表する山々を一望できる世界中のトレkkerに人気の定番コースです。コースのハイライトでもある展望の丘プーンヒル(3,194m)からは、アンナプルナとダウラギリ、8,000m峰を擁する2つの山群を同時に見渡すことができます。雨期明けの秋は山の姿がくっきりと見え、ヒマラヤの山々を見るには絶好の季節です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
11/4(火)～11/12(水)	¥482,000

- 燃油サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約45,600円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=ネパール/申請料9,400円(実費5,000円+申請料4,400円)
※2025年6月1日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはカトマンズからカトマンズまで同行します。
- 最少催行人数:10人 ● 食事:朝7回、昼5回、夕5回
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。カトマンズ:⑥クラス/ラディソン、ゴカルナリゾート
ポカラ:⑦クラス/バラヒ、アティティ、ベースキャンプ
- 一人部屋利用追加料金:¥60,000(日程4日目のタダパニのロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社:大韓航空、キャセイパシフィック航空、マレーシア航空、タイ航空、ネパール航空、シンガポール航空

※トレッキング:現地ガイド、ポーターが同行。コックは同行。
※行動範囲:1,500m～3,194m、最高宿泊高度2,895m、高山病の影響は小さい。

専属コック同行

平均的なロッジに宿泊します。トレッキング中はロッジ提供の食事が主体となりますが、専属コックが同行し単調にならないようお手伝いします。

大人気の定番コースがさらに魅力的に

近年の道路の延伸を反映し新たに改良したこのコースでは、トレッキング1日目のガンドルンからハイライトのゴラパニまで、毎日ヒマラヤの好展望が続き、春はシャクナゲの名所として知られています。高山病の心配も少なく、初めてネパールを訪れる方にもおすすめです。

マチャプチャレ

ネパール語で「魚の尾っぽ」を意味するこの山は、地元住民によって神聖な山として崇敬されており、ネパール政府により登山が禁止されていて、未踏峰となっています。



▲牧歌的な雰囲気のある村とマチャプチャレ(6,993m)

アンナプルナ山群

サンスクリット語で「豊穡の女神」を意味するこの山群は、ネパール・ヒマラヤの中央部に位置し、アンナプルナI峰やアンナプルナ南峰など名峰が展望できます。



▲ゴラパニから望む夕陽に染まるアンナプルナ山群

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 カトマンズ	発着 午前、東京発→アジア経由都市で乗り継ぎ、夜、ネパールのカトマンズ着。 ☐機機【カトマンズ泊】
2	カトマンズ ポカラ	発着 朝、☒ラメチャップ空港へ。午前、→国内線でポカラへ。天候が良ければ右側機窓からはランタン山群やマナスル山群の大パノラマが望めます。 ☒☒☒☒【ポカラ泊】
3	ポカラ ガンドルン	発着/発着 ☒専用車でナヤプル(1,070m)へ。さらに悪路をガンドルン周辺(1,780m)へ(約3時間)。シェルパ達とトレッキング開始。★石畳の道を登り、ゆっくりとグルン族の村ガンドルン(1,950m)へ(徒歩約30分)。 ☒☒☒☒【ガンドルン泊】
4	ガンドルン タダパニ	発着 ★トレッキング2日目 ★アンナプルナ・サウスやマチャプチャレを間近に眺めながら、ゆるい登りをタダパニ(2,650m)へ(徒歩約4.5時間)。 ☒☒☒☒【タダパニ泊】
5	タダパニ ゴラパニ	発着 ★トレッキング3日目 ★樹林帯を抜け、滝のある沢沿いの山道をデウラリ峠(2,990m)へ。ゴラパニ手前では、新たにダウラギリ方面の展望も開けてきます。シャクナゲの屋根街道をゴラパニ峠(2,895m)へ(徒歩約6時間)。 ☒☒☒☒【ゴラパニ泊】
6	ゴラパニ ポカラ	発着/発着 ★トレッキング4日目 ★好展望の丘プーン・ヒル(3,194m)を往復。好天に恵まれれば、朝焼けのダウラギリI峰(8,167m)、アンナプルナ山群等の素晴らしいパノラマが堪能できます(徒歩約2時間)。 ★その後、ゴラパニからジヨムソン街道の石段の道をヒレ(1,500m)まで下ります(徒歩約5時間)。 着後、☒専用車でポカラへ(約3時間)。夜、ポカラ着。 ☒☒☒☒【ポカラ泊】
7	ポカラ カトマンズ	発着 午前、→ラメチャップへ。☒専用車でカトマンズへ。 ☒☒☒☒【カトマンズ泊】
8	カトマンズ カトマンズ	発着 夜の出発まで自由行動。街の散策やオプショナルツアーのヒマラヤ遊覧飛行や市内観光などをお楽しみください。夜、カトマンズ発→アジア経由都市へ。 ☒☒☒☒【機中泊】
9	東京	発着 朝、アジア経由都市着→乗り継いで東京へ。午後、東京着。 ☒☒☒☒

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。
※7日目の昼以降、ホテルの部屋を共同で夕方までご利用いただけます。

ダウラギリ山群

サンスクリット語で「白い山」を意味するこの山群は、アンナプルナ山群の西側に位置する山群です。主峰のダウラギリI峰は世界第7位の高峰で、迫力ある雄姿を展望できます。



▲ダウラギリI峰(左/8,167m)トクチェピーク(右/7,920m)

プーンヒル

アンナプルナとダウラギリ、8,000m峰を擁する2つの山群を見渡せるプーンヒルは、ネパールでも一、二を争う人気の展望地です。日の出前に登り、ご来光とともに刻々と変わる巨峰群の姿は必見です。



▲プーンヒルからの大パノラマ

多くの遠征隊が歩いたエベレスト街道をたどり、憧れの世界最高峰を展望

お申込みは
こちら

発表

エベレスト展望トレッキングと
シェルパの里 9日間

ヒマラヤの遠征隊で活躍する高地民族シェルパ族が生活する村々を訪ねながら、憧れのエベレストの展望地を目指します。エベレスト山群の他のコースに比べて、比較的トレッキング期間の短い日程で、世界最高峰とそれを取り巻く圧巻のヒマラヤの巨峰群を堪能できるコースです。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
11/18(火)～11/26(水)	¥496,000

- 燃油サーチャージ (2025年6月1日現在: 目安約45,600円) が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内します。
- ビザ=ネパール/申請料9,400円 (実費5,000円+申請料4,400円 ※2025年6月1日現在、手数料・消費税込み) の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー (添乗員): 東京から東京またはカトマンズからカトマンズまで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ● 食事: 朝7回、昼6回、夕5回
- 利用予定ホテル: Cクラス以上。カトマンズ: @クラス/ラディソン、ゴカルナリゾート
- 一人部屋利用追加料金: ¥62,000 (ロッジを含む)
- 利用予定航空会社: 大韓航空、キャセイパシフィック航空、マレーシア航空、タイ航空、ネパール航空、シンガポール航空

※トレッキング: 現地ガイド、ポーターが同行。コックは同行しません。
※行動範囲: 2,610m～3,880m、最高宿泊地3,440m、高山病の影響ややあり。

専属コック同行

平均的なロッジに宿泊します。トレッキング中はロッジ提供の食事が主体となりますが、専属コックが同行し単調にならないようお手伝いします。

スプーンから寝袋まで

トレッキングに必要な寝具は全て現地準備されています。専属コックが作る温かい食事もおたのしみいただけます。

※カトマンズ～ルクラ間の航空路線は、山岳地帯を飛び定期航空便を利用します。天候条件や機材、その他の現地事情により、遅延やフライトのキャンセルなど、予定通りに飛べないことがあります。天候不順等の理由により、日程変更になる場合に新たに生じた費用につきましては、すべてお客様のご負担となります。また、定期航空便で飛べない場合には代替として小型ヘリコプターを利用することがありますが、その際にかかる利用航空機費用の差額はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京発 カトマンズ着	午前、東京発→アジア経由都市で乗り継ぎ、夜、ネパールのカトマンズへ。 ☞着後、カトマンズのホテルへ。 ☐機中【カトマンズ泊】
2	カトマンズ発 ルクラ着/発 トレッキング1日目 パクディン着	早朝、ラメチャップ空港へ(約6時間)。朝、→国内線にてルクラ(2,840m)へ。着後、シェルパ達とともに、トレッキング開始。☞ドゥドゥー・コシ沿いの道をパクディン(2,610m)へ(徒歩約3時間)。 ☞☞☞【パクディン泊】
3	トレッキング2日目 パクディン発 ナムチェ着	☞谷沿いの道をジョサレ(2,840m)へとたどり、世界遺産のサガルマータ(エベレスト)国立公園に入ります。標高差600mの坂をゆっくりと登り、シェルパの里ナムチェ(3,440m)へ(徒歩約6時間)。 ☞☞☞【ナムチェ泊】
4	ナムチェ滞在 トレッキング3日目 エベレストビュー トレッキング	☞急な坂道をシャンボチェ(3,841m)へゆっくり登りません。ここから、世界最高峰のエベレスト(3,841m)、ローツェ、アマダブラム、タムセルクなどの大パノラマを楽しみながらホテル・エベレスト・ビュー(3,880m)、伝統的で落ち着いたシェルパ族の村クムジュン(3,780m)を巡り、ナムチェへ(徒歩約6時間)。 ☞☞☞【ナムチェ泊】
5	トレッキング4日目 ナムチェ発 ルクラ着	☞往路をルクラへ戻ります(徒歩約8時間)。 4日間のトレッキング終了。 ☞☞☞【ルクラ泊】
6	ルクラ発 カトマンズ着	→ルクラから国内線でラメチャップへ。☞専用車でカトマンズへ(約6時間)。 ※国内線が飛ばない場合はルクラ滞在。ロッジ泊。 ☞☞☞【カトマンズ泊】
7	カトマンズ滞在 半日市内観光	カトマンズ滞在。 午前、自由行動。午後、カトマンズの半日市内観光へ出かけます。またはルクラ→カトマンズのフライト予備日。 ☞☞☞【カトマンズ泊】
8	出発まで自由行動 カトマンズ発	出発まで自由行動。街の散策や、オプションツアーなどでカトマンズでの滞在をお楽しみください。 夜、カトマンズ発→アジア経由都市へ。 ☞☞☞【機中泊】
9	東京着	朝、アジア経由都市で乗り継ぎで東京へ。 午後、東京着。 ☞☞☞

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

エベレスト街道

エベレストを目指す多くの遠征隊が歩き、それを支えるシェルパ族の村々を結ぶ街道です。チベット仏教の寺院も点在し、ここに住む人々の伝統と文化を感じることが出来るのもこの街道を歩く楽しみの一つです。



▲世界最高峰エベレスト(左)、ローツェ(右)

クーンブ山群

エベレスト山群とも呼ばれています。エベレストを中心に、世界第4位の高峰ローツェやヌブツェ、アマダブラム、カンテガ、タムセルクなど歩くにつれと標高の高くなり、氷雪を抱くヒマラヤの山々の絶景は圧巻です。



▲シャンボチェ付近からのタムセルク(右)、アマダブラム(左)

ナムチェ

ヒマラヤの登山隊を支えるシェルパ族の故郷の村として知られるのがナムチェバザールです。すり鉢状の村には多くのトレッカーが訪れ、この村を起点にエベレストやヒマラヤの巨峰群の展望を楽しめます。



▲シェルパの里ナムチェ

クムジュン村

伝統的で落ち着いたシェルパ族の村クムジュンを訪れます。アマダブラム(シェルパ語で母の首飾り)の麓に広がるエベレスト街道でもっとも美しい村と言われています。雪男の頭皮のあるゴンパも有名です。



▲クムジュン村からのアマダブラム(6,812m)

富士を巡り、信仰・自然・暮らしを辿る



富士山と対峙する山旅 “富士山ロングトレイル” 4日間

お申込みは
こちら

富士山を新しい角度から楽しむトレイルとして、2021年8月8日「山の日」に全線開通した富士山ロングトレイルは、登山道と山麓の文化や歴史が感じられるロード区間を繋いだ総距離約170kmの行程です。弊社ではこのトレイルを、富士山を中心としたEAST・WEST・SOUTH・NORTHの4つのエリアに分類し、素晴らしい眺望や大自然と共存する人々の暮らしなど、様々な角度から富士山の魅力を感じて頂けるコースとして企画致しました。

出発日 11/2(日)

集合/時間 富士山駅 9:30

参加費 156,000円 ● 一人部屋利用追加料金：¥30,000

● 最少催行人数：10人 ● 食事：朝3回、昼4回、夕3回

富士山麓のトレイルをぐるりと繋いだ 総距離170kmの富士山ロングトレイルの旅

この4日間では、富士講の信仰地や湧水群といった文化遺産を訪ねながら、季節の風景と共に歩けるWESTエリアを歩きます。紅葉に染まる精進湖・本栖湖、富士山展望の竜ヶ岳とパノラマ台、富士山信仰の痕跡をたどる静かなトレイル。道中には、芸術や暮らしに触れる体験も。富士山の全体像を「感じる」「見る」「知る」贅沢な時間です。身体にも心にも響く、富士山再発見の旅へ。



▲紅葉と富士山の絶景(1日目)



▲精進峠から望む精進湖と富士山(2日目)

芸術と感性

富士山が生んだ多くの芸術表現は、日本人の美意識に大きな影響を与えてきました。世界遺産センターでの展示や出会う風景を通して、富士が“感じる芸術”であることを再認識します。



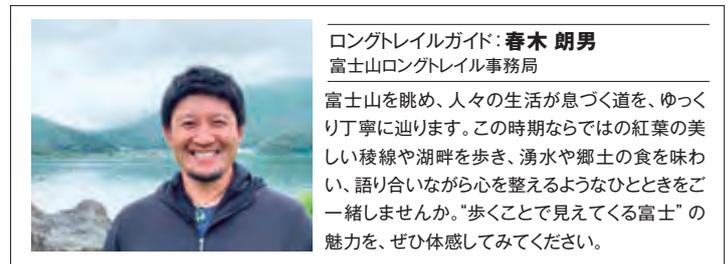
▲秋の精進湖と霊峰・富士山

自然と絶景

富士山ロングトレイルの稜線ルートである竜ヶ岳やパノラマ台、三方分山といった展望スポットからは、大パノラマが広がります。稜線を歩きながら、五感で富士の自然を満喫します。



▲360°のパノラマが広がる竜ヶ岳山頂(3日目)

ロングトレイルガイド：春木 朗男
富士山ロングトレイル事務局

富士山を眺め、人々の生活が息づく道を、ゆっくり丁寧に辿ります。この時期ならではの紅葉の美しい稜線や湖畔を歩き、湧水や郷土の食を味わい、語り合いながら心を整えるようなひとときをご一緒しませんか。“歩くことで見えてくる富士”の魅力を、ぜひ体感してみてください。

日程	発着場所	スケジュール/食事
1	富士山駅 発 富士山ロングトレイルを見渡す 紅葉ハイキング 本栖 着	富士山駅集合。専用車で富士山世界遺産センターへ移動。明日からのトレッキング前に、展示を通して富士山の自然、信仰、芸術を体感。昼食後、三湖台までハイキング。富士山ロングトレイルのNORTHエリアを見渡す事ができる紅葉の名所歩きをご堪能(徒歩2.5時間)。下山後、専用車で本栖のホテルへ。 ☐・☒・☓【本栖フェニックスホテル泊 ④】
2	本栖 発 富士山ロングトレイル NORTHエリア 精進湖～本栖湖 本栖 着	専用車で精進湖へ。精進湖北岸から古道「中道往還」を登り、三方分山、パノラマ台、烏帽子岳と富士山の眺望ポイントを経由し本栖湖へ(徒歩約5.5時間)。本栖湖から専用車でホテルへ。 ☒・昼弁当・☓【本栖フェニックスホテル泊 ④】
3	本栖 発 富士山ロングトレイル WESTエリア 本栖湖～朝霧高原 本栖 着	ホテルからトレイル歩きをスタート。本栖湖の南側にそびえる竜ヶ岳からは、広大な草原に浮かぶ富士山のパノラマ風景が広がる。端足峠へと下り、朝霧高原へ(徒歩約6.5時間)。道の駅・朝霧高原に立ち寄り専用車でホテルへ。 ☒・昼弁当・☓【本栖フェニックスホテル泊 ④】
4	本栖 発 富士山ロングトレイル WESTエリア 猪之頭～田貫湖 河口湖駅 解散	専用車で道の駅朝霧高原へ。舗装路と林道が混ざった平坦なトレイルを歩きながら麓の人々の暮らしを体感。ワサビの栽培地でもある猪之頭湧水群を巡る(徒歩約2.5時間)。田貫湖到着後、専用車で人穴浅間神社へ。昼食後、専用車で河口湖駅、解散。(14:00～14:30解散予定) ☒・☒・☐

※ハイキングに不要なお荷物は専用車にて回送いたします。

※上記日程・発着時刻は、天候、交通機関の都合、現地事情、歩行ペースなどにより変更されることがあります。

暮らしと営み

豊かな湧水や農耕の文化、集落の営みを通じて、富士山と共に生きてきた人々の知恵と工夫に出会います。地域に根ざした暮らしの風景が、旅に温もりと奥行きを与えてくれます。



▲朝霧高原、牧歌的な風景と富士山(3日目)

信仰と歴史

かつて多くの人々が富士山を目指して歩いた富士講の聖地・人穴浅間神社を巡ります。信仰と祈りが息づく土地をたどることで、霊峰・富士の文化的背景と精神性に深く触れられます。



▲富士講の聖地人穴浅間神社(4日目)

京都から海へ、鬼伝説を辿る古道の旅



大江山・天橋立、伝説の“鬼トレイル”と伊根の舟屋群を往く5日間

お申込みはこちら

鬼トレイルは京都・大江山から丹後半島・立岩まで続く全長100kmのロングトレイルです。各地にまつわる鬼伝説を辿りながら平安時代から残る歴史ある古道や自然遊歩道、大江山連峰の4つの山頂を1泊2日で縦走。天橋立松並木を歩いて海を渡り、西国三十三所巡28番成相山成相寺を訪ねる巡礼の道までの鬼トレイルのハイライト部分を歩きます。この時期に解禁の日本海の冬の味覚、松葉ガニの夕食コースもご堪能いただけます。最終日には世界で最も美しい湾と称される伊根の舟屋群を散策。山から海へと続く文化と自然の繋がりを再認識する5日間の歩く旅です。

出発日 11/18(火)

集合/時間 JR京都駅 10:00

参加費 212,000円 ●一人部屋利用追加料金: ¥43,000

●最少催行人数: 10人 ●食事: 朝4回、昼5回、夕4回

鬼の王、酒呑童子の棲む大江山

平安時代に都を震撼させた鬼の王、酒呑童子(しゅてんどうじ)の根城があったとされる大江山。その酒呑童子のストーリーに影響を与えたとされる麻呂子親王(まろこしのう)の鬼退治伝説、さらに古くは陸耳御笠(くがみのみかさ)という土蜘蛛(つちぐも)のストーリー。大江山周辺の丹後地方には3つの鬼伝説が伝わります。鬼伝説の大江山越えは、平安貴族発祥の巡礼の旅にも花を添えました。いつしか鬼伝説は地元住民の誇りとなり、鬼を中心とした地域づくりが江戸時代頃に最盛期を迎えます。やがて鬼を思いやる地元住民たちは酒呑童子の供養塔を建立し、命日を休日として酒呑童子を偲んで酒盛りを行いました。かつての巡礼路の人気ぶりは、大江山から遠く離れた天橋立を望む西国三十三所第28番札所・成相寺に残る絵巻や宝物から感じ取ることができます。山道を歩き、鬼の伝説を辿るこのルートは、かつての旅人たちと同じ風景を五感で味わえる貴重な体験。途中立ち寄る成相寺の客殿では、特別に展示された宝物を拝観しながら、悠久の時を越えて、今なお息づく鬼伝説の世界に触れることができます。



▲日本の鬼交流博物館の巨大鬼瓦(1日目)

元伊勢と天岩戸神社 大江山連峰縦走と宮津街道

大江山の麓、元伊勢内宮は伊勢神宮が遷座以前に祀られていました。境内には鬼退治に向かう麻呂子親王が植えた麻呂子杉が残っています。神話と信仰が息づく天岩戸神社への参拝は鎖場を登ります。



▲神話の舞台天岩戸神社(1日目)

丹後半島の根元、東西20kmに広がる国定公園大江山連峰の縦走は標高1,000m以下の豊かな自然、野鳥の宝庫です。中世交通の要、石畳の宮津街道を歩き、自然と1,300年の歴史ロマンを満喫できます。



▲大江山連峰縦走(2・3日目)



ロングトレイルガイド: 西木 真央

アウトドアクラブ遊舎代表 / 海の京都DMO企画

鬼トレイルは低山ならではの豊かな自然と1300年の古道の歴史、日本独自の鬼文化、変化に富んだ景色を楽しんで頂けるロングトレイルツアーになっています。実際に歩いて見ると日本アルプスを連泊縦走した時のような達成感と満足度、全身が心地良い疲労感に包まれます。

日程	発着場所	スケジュール/食事
1	J R 京都 駅 発 大江 町 着	京都駅八条口集合。専用車で大江へ。昼食後、 元伊勢神宮の元となった神社として崇められている元伊勢大神社、日室ヶ嶽、天照大神伝説の残る天岩戸神社と元伊勢内宮へ。紅葉の二瀬川溪流から石畳の古道・新旧宮津街道の鬼の足跡、鬼退治で知られる源頼光の腰かけ岩などを巡る (徒歩約4時間)。専用車で日本の鬼交流博物館へ。見学後グリーンロッジへ。 ☐・昼弁当・☒【グリーンロッジ泊 ☒】
2	大江 町 発 与謝野 町 着	専用車で鬼嶽稲荷へ。ご来光と雲海を眺めコーヒータイム。宿に戻り朝食。 丹後最高峰・大江山連峰縦走。悪鬼・酒呑童子供養塔を経て、広い山頂の千丈ヶ嶽へ。その後360度の大パノラマを堪能できる鳩ヶ峰山頂、鍋塚山山頂付近で昼食(鬼ぎり弁当)池ヶ成登山口へ下山 (徒歩約5.5時間)。専用車で地元食材料理が自慢の宿・かやの家へ。 ☒・昼弁当・☒【グリーンロッジ泊 撤去】
3	与謝野 町 発 宮津 着	朝食後、専用車で池ヶ成登山口へ。 鬼の岩屋を経て、最高地点の航空管制等から後線上の休憩場所・茶屋ヶ成から下山 (徒歩約4.5時間)。下山後は1両編成のローカル線・京都丹後鉄道で宮津駅へ。昼食後、創業300年・文人墨客の宿・小さな美術館とも呼ばれる 清輝楼見学 と宿泊。夕食は旬の松葉がに料理をご堪能。 ☒・昼弁当・☒【清輝楼泊 撤去】
4	宮津 発 宮津 着	朝食後、 徒歩で日本三景第一零場・天橋立智恩寺へ。回転橋を渡り日本三景・天橋立歩き。元坂道を上り山岳宗教の修験場・成相山成相寺で鬼の頭領・酒呑童子にまつわる絵巻や所蔵品見学。昼食後下山。観光船で天橋立文珠エリア、清輝楼へ (所要時間約6.5時間)。夕食は地元料理。 ☒・昼弁当・☒【清輝楼泊 撤去】
5	宮津 発 J R 京都 駅 解散	朝食後専用車で約230軒の舟屋が並ぶ伊根町へ。舟屋見学と海上タクシーで伊根湾巡り。昼食後専用車で道の駅・舟屋の里伊根へ。その後専用車で宮津を経て解散場所の京都駅へ(所要時間約7.5時間)。 ☒・☒・☐

※ハイキングに不要なお荷物は専用車で回送いたします。

※上記日程・発着時刻は、天候、交通機関の都合、現地事情、歩行ペースなどにより変更されることがあります。

天橋立一文字 伊根湾の舟屋群

天橋立の松並木は、地形と条件が重なり長い年月をかけ形成された特殊な砂州です。日本三景といわしめた成相寺への山道から望む周囲の山々や海との調和が美しい絶景を歩いて眺めて楽しめます。



▲日本三景天橋立(4日目)

波が穏やかな伊根湾とともに独特の生活文化を育ててきた「伊根の舟屋」。複雑な地形が織りなす絶景や、海とともに暮らす町ならではの伊根でしか出会えない風情ある街の散策が楽しめます。



▲水際に佇む伊根の舟屋群(5日目)

里山の原風景・山頂からの絶景眺望・木々と清流の織り成す豊かなハーモニー



大自然と里山文化をつなぐ “常陸国ロングトレイル”を歩く 3日間

お申込みは
こちら

茨城県北部、“常陸国(ひたちのくに)ロングトレイル”は、茨城県北部6市町にまたがり、全長320キロの前線開通を目前に、日々整備が続けられている、都心から最も近いトレイルの一つ。集合場所の水郡線袋田駅周辺に広がる里山風景に心癒されます。低山ながら高度感のある生瀬富士や、通称ジャンダルムと呼ばれる岩峰、おかめ山や土岳山頂から望む360度の大パノラマ、名瀑・袋田の滝、紅葉の花貫溪谷、そして大自然の驚異・地割(じわれ)や巨岩・くじら石、老木の山桜やけやきの巨木など、出会うもの全てが魅力満載の2泊3日の行程には、常陸国ロングトレイルのハイライトが凝縮されています。

出発日 11/12(水) **集合/時間** 水戸駅 9:00
参加費 118,000円 ●一人部屋利用追加料金: ¥11,000
 ●最少催行人数: 10人 ●食事: 朝1回、昼3回、夕2回

トレイルのハイライトが凝縮された3日間

1日目、生瀬富士やジャンダルムから望む絶景はドラマチック。鎖やロープを手掛かりに辿るルートは、標高が低いものの高度感があり、山歩きの醍醐味を堪能できます。名瀑・袋田の滝を眼下に望む“滝のぞき”を経て滝上流を渡河するコースは程よいスリルと感動の連続。2日目のおかめ山からは360度の大パノラマをお楽しみ下さい。“地割”と呼ばれる岩の割れ目に大自然の驚異を感じ、銘木に囲まれた西金砂(にしかなさ)神社へ。72年に一度の大祭礼(前回は2003年3月)では氏子が大行列を成し、日立市の水木浜まで10日間かけ往復。その大祭礼の道を天下野集落へ下ります。最終日は紅葉の花貫溪谷へ。清流に舞う紅葉、滝が奏でる音色、さざめく竹林…幻想的な小路はトレイルの序章。入山すると、巨木の山桜“花子さん”がお出迎え。杉木立や自然林を抜け岩場登り、ロープを辿り急な斜面を下った先には岩の祠・土岳神社奥の院が。お参りの後登り返し、土岳山へ。晴れた日の山頂からは筑波山はもとより、遠く富士の山も望めます。巨岩“くじら石”を経て下山すると、巨木“けやき太郎”が優しく包み込んでくれます。



▲紅葉が美しい常陸国ロングトレイル

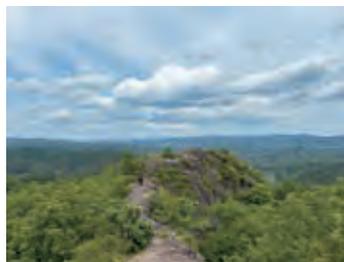
キャンプサイトでリラックス 360度大パノラマの絶景堪能

1泊目の宿泊地、OKUKUJI BASE CAMP。スタイリッシュなセンターハウスはFree Wi-Fi完備。久慈川沿いに広がるフリーキャンプサイトでリラックス。



▲OKUKUJI BASE CAMP (1日目)

常陸国ロングトレイルのハイライトの一つ通称“ジャンダルム”。スリル溢れる高度感と360度の大パノラマの絶景をご堪能頂きます。



▲生瀬山麓にそびえる通称・ジャンダルム



ロングトレイルガイド: **和田 幾久郎**
 (株)ナムチエバザール常陸国ロングトレイル事務局代表
 茨城県北6市町に点在する、山・海・川・滝などの自然の景勝地からぬくもりある里山、歴史的遺構、古くからの街並み…。魅力あるいくつもの地域資源をひとつなぎにした常陸国ロングトレイル。里山文化をつなぐ壮大な旅の第一歩を、一緒に踏み出しましょう。

日程	発着場所	スケジュール/食事
1	JR水戸駅 発 絶景“ジャンダルム” 生瀬富士 袋田・滝のぞき 大子 着	水戸駅集合。専用車で登山口へ。▲標高は低いものの、鎖場やロープを使うダイナミックな岩場や山歩きをお楽しみ頂き、生瀬富士山頂へ。山頂からほど近い“ジャンダルム”と呼ばれるピークは高度感もあり、360度の大パノラマを堪能。昼食後、名瀑・袋田の滝を眼下に望む“滝のぞき”を経て、滝上流を渡河するアドベンチャラスなコースは程よいスリルと感動の連続(徒歩約4時間)。専用車で下山後はお洒落なキャンプ地へ。宿泊は、快適な一人用のテントに寝袋が完備されています。 ☐・昼弁当 ☑【OKUKUJI BASE CAMP泊 ①】
2	大子 発 大パノラマ・おかめ山 西金砂神社 大祭礼の道 大子 着	▲赤岩集落からおかめ山へ。山頂からは360度の大パノラマを堪能。“地割”と呼ばれる大きな岩の割れ目を経て大杉やイチヨウ、サワラなど県の天然記念物に指定される銘木に囲まれた西金砂(にしかなさ)神社へ。72年に一度行われる大祭礼の道もトレイルの一部。ここを経て門前町である天下野集落へ。里山の人々の息吹や歴史を感じるコース(徒歩約4.5時間)。専用車で滝見の湯・白木荘へ。 ☐・昼弁当 ☑【月居温泉白木荘泊 ②】
3	大子 発 紅葉名所・花貫溪谷 土岳山頂 巨石・くじら石 JR日立駅 解散	▲紅葉の名所・花貫溪谷から土岳山頂を目指す。清流に舞う紅葉、滝が奏でる心地よい音色、さざめく対岸の竹林…幻想的な小路からトレイルはスタート。入山すると、巨木の山桜“花子さん”がそびえる。凜とした杉林からの岩場登り。神秘的な奥の院を経て、土岳山頂からは筑波山、遠く富士の山も望める。巨岩“くじら石”を経て下山。けやきの巨木“けやき太郎”が「お帰りなさい」と優しくお出迎え(徒歩約3.5時間)。専用車で海岸沿いの鶏来来の湯へ。入湯後、専用車で日立駅解散。 ☑・昼弁当 ☐

※ハイキングに不要なお荷物は専用車にて回送いたします。

※上記日程・発着時刻は、天候、交通機関の都合、現地事情、歩行ペースなどにより変更されることがあります。

名瀑袋田の滝を上から展望 パワースポット西金砂神社

冬場は全面凍結することも多い名瀑袋田の滝を“滝のぞき”から見下ろせる醍醐味は常陸国ロングトレイルハイカーの特権です。



▲名瀑・袋田の滝を見下ろす滝のぞき

西金砂神社の社殿は、西暦806年以来歴史の続く神社で、72年に1度の磯出(いそで)大祭礼で知られる地元のパワースポット。



▲西金砂本殿とご神木の杉(2日目)